

NPO法人 自立生活センター STEPえどがわ 会報

STEPっ子パラダイス all for ワ ダァー!!

えぬぴーおーほうじん
じりつせいかつせんたー
すてっぷえどがわ
かいほう
すてっこぱらだيس
おーるふおあわんだふおー

ねん がつごう
2011年4月号



あたら しゅつぱつ ひょうげん
「新しいキモチ、出発」をイラストで表現して!!

と、とっても絵が上手いAさんにムチャ振りしてみました。すると、短時間
で、こんなに明るく個性豊かな表情と、夢あふれるワクワクするイラストを
描いてくれました。。

こんなやりとりがあったのは、3月11日の震災前…

今回の震災で被災された方、また大切な家族や友人を亡くされた方、心より
お見舞いとお悔やみを申し上げます。

笑顔を取り戻すには時間がかかるかもしれないけど…私たちは、

『愛し愛されたく、創造性に満ち、知性と喜びに溢れ、パワフルである!!』

生かされた命を大切に、私たちは出発できると信じています。



目次

も く じ



あ 当たり前 <small>まえ</small> にすること	2
おおじしん ぼん あらた 大地震の晩に改めてインクルーシブ社会 <small>しゃかい</small> を想 <small>おも</small> う	3
わら げいにん ひびき しょうがい せいかつ お笑い芸人“響”の障害のある生活	7
ボランティアフェスティバル & もぐら <small>あんど</small> 祭 <small>さい</small>	10
す て つ こ なつまつ STEっ子夏祭り 2010	12
ピア・カウンセリングセミナー	14
す て つ こ いん とうぶくみんかん あんど たきのこうえん STEっ子バザー in 東部区民館 & 滝野公園	15
す て つ こ STEっ子バーベキュー 2010	17
じゅつてんにいきゅーぜんこくだい 10.29全国大フォーラム	19
ちやくしょうまえしんだん かんが 着床前診断を考えるワークショップ	20
クリスマスパーティー 2010	22
ぼきんかつどう 募金活動	25
かいごしょく いりよう かいきん 介護職の医療ケア解禁！？	26
かつやみつづ じょうほうはつしん 勝矢光信の情報発信コーナー	30
じりつせいかつ はじ 自立生活を始めて	33
へるぱーさんたちのあそびば	34
ベトナム散歩「ホーチミン編」 <small>さんぽ</small> <small>へん</small>	37
しん しょうかい 新スタッフ紹介	45
かつどうほうこく 活動報告	48
かいいんほしゅう 会員募集	50



当たり前のこと

あた り ま え に す る こ と

Keep natural

きーふ なちゅらる

りじちよう よしもと りゆうじ
理事長 良元 竜次

かげさま わたくしどもえぬぴーおーほうじんじりつせいかつ すてっぶ いろん ひとたち
お陰様で、私共NPO法人自立生活センターSTEPえどがわも、色々な人達と
かか ねんめ むか でき あらた ひと かか たいせつ かん
関わりながら9年目を迎えることができました。改めて、人の関わり大切さを感じ
ています。

さくねん じりつしえんきょうぎかい じかんかいじよほしよう もと えどふくかい ちいき おお
去年は、自立支援協議会、24時間介助保証を求め、江戸福会と地域での大
うご ぜんこくてき うご さべつきんしじょうれい む しょう
きな動きがありました。全国的な動きとしては、差別禁止条例に向けて障がい
しゃせいどかいかくすいしんかいぎ め とし さくねんまつ わたしたち じりつしえんほうかいせいあん
者制度改革推進会議と目まぐるしい年でした。昨年末、私達は、自立支援法改正案に
はんたい ぜんこく なかまたち うんどう せいじ わたしたち こえ き
反対をし、全国の仲間達と運動をしてきましたが、政治は、またしても私達の声を聞
かす ほうあん かけつ とき かな くや おも だ ふくし かか
かず法案を可決しました。その時の悲しみと悔しさが思い出されます。福祉に関わる
おお ひとたち せいけん か きたい こくみんふざい こつかけんりよく さけ
多くの人達も政権が変わったことに期待をかけたが、国民不在、国家権力と叫
ばずにいられない結果ではなかったでしょうか。「私達抜きに私達のことを決めない
で！」この言葉は、どこへいったのだろうか。もしこのまま当事者不在で政治が進め
られるなら、私達は、また、管理された世界へ閉じ込められ、障害者と健常者といっ
た ば かね べ ふあん かん とし こ
た生き場の壁をつくられてしまう不安を感じながら年を越しました。

さべつきんしじょうれい じりつしえんきょうぎかい ことば みみ わたし ことば す
差別禁止条例に、合理的配慮と言う言葉を耳にします。私は、この言葉がとても好
きです。「あたり前にすること」と私には聞こえます。私達、自立生活センターで、
いろん ひとたち いろん こと かんが とく
色々な人達と色々な事を考え取り組みをしてい
ます。ピアカウンセリング、自立生活プログラ
ム、権利擁護、介助派遣、相談など全てのこと
が、ひとひととして生きる時に必要なことだから
です。

ことし すてっぶ あたり
そして、今年もSTEPえどがわは、あたり
まえ つ あ かつどう おも
前に付き合う活動をしていきたいと思ひます。



大地震の晩にインクルーシブ社会を想う

じむきょくちょう いまむら のぼる
事務局長 今村 登

■ 激動の1年

2009年8月の総選挙で、我が国の有権者の選択は「民主党」だった。何かが変わると思った。実際に障害者施策の関係では、早速9月に長妻厚労大臣が「障害者自立支援法を廃止して新法に作り変える」と明言し、「国連の障害者権利条約の批准に向けて、国内法の整備」を目的とする「障がい者制度改革推進本部」が12月に発足し、その具体的な中身を検討し提案する「障がい者制度改革推進会議」が、2010年1月からスタートした。この推進会議は、我々の大先輩で自立生活センターの仲間でもある弁護士の東俊裕さんが推進室長に就任されたことをはじめ、構成委員、事務局員等々にSTEPえどがわも所属するJIL、DPI関係者が携わることとなった。つまり、この国の政策決定の現場に、当事者が直接的に参画できる、画期的な仕組みが誕生したのだった。これは、正に「Nothing about us without us！」（私たち抜きに私たちのことを決めないで）という権利条約制定までのスローガンを具現化したものであり、それこそ政権交代の証でもあった。

昨年1月から始まった推進会議では、月に2回～4回という非常にタイトなスケジュールながらも、意見の食い違う点や、慎重を期すものについてはゆっくり丁寧な議論をし、一方で日常生活で困っている待たなしの状況にある人たちについての対策は早くという「ゆっくり・早く」の姿勢で進められてきた。こうして、2010年6月に「障害者制度改革の推進のための基本的な方向」（第一次意見）が推進会議でまとめられ、閣議決定された。また、4月には推進会議の下に総合福祉部会も設置され、障害者自立支援法を廃止して新法に作り替えるための議論がスタートし、まずは「当面の課題」として、新法ができるまでの間に予算措置や政省令での対策案をまとめ、第一次意見とともに推進本部に報告された。

こう記すと政権交代以降、順調に障害者制度改革が進められてきたように見えるが、そんな平坦なものではなかった。福祉部会で正に「当面に課題」を整理しようとしている最中、自立支援法の一部改正案が議員立法で提出されたのだった。自公案に

対抗する形で民主案が提出されたのだが、どちらも2009年の春、まだ政権交代前の自立支援法を存続させることが前提の改正案で提出され否決されたものがベースであることに大差はなかった。確かJILの総会が博多で開催された時と時期が重なり、JILのシンポジウムに東さん、尾上さんに加えて民主党の園田議員を招いていた時だったため、この話題の取り扱いに慎重になったことが思い出される。この時の改正法案は鳩山首相の辞任によって国会審議がストップし結局審議未了により廃案となったが、そもそも推進会議を無視する形で進められたことに多くの非難の声が上がり、6月名古屋で開催されたDPIの総会でも抗議声明文が採択された。

その後行われた参院選で民主党の惨敗による「ねじれ国会」となったため、秋の国会で再提出が現実味を帯びてきた。なぜなら、廃案になったとはいえ、国会で否決されたわけではなく、会期末による審議未了であったことが大きい。しかも与党民主党も賛成していた事実があるからだ。そのため民主党では復活した政策調査会（政調）の「障がい者政策 P T」によるヒアリングが9月から11月まで毎週行われた。それは推進会議の構成員でもあるJDFの加盟団体、総合福祉部会の団体、有識者だけでなく難病など構成員に入っていない団体にも機会が与えられ、実に50以上もの団体と有識者がよばれるという丁寧なものだった。私もDPI日本会議の一員としてヒアリングに参加し、改正法案で書かれている「相談支援の充実」の内容と施行時期の問題を中心に懸念事項を説明した。新法移行までの対応については法律改正ではなく、福祉部会がまとめ、推進会議が提出した「当面の課題」に沿って予算措置と政省令の改定で対応することと、制度の谷間解消に向けた予算組み替えの提案をし、どうしても法改正が必要ということであれば、改定法に係る政省令も含めて、推進会議との十分な協議の上、合意した事項を法定化するべきであり、このままの改正案には反対であることを明確に表明した。改正案の賛否は、反対意見が多かったと思う。実際、ヒアリングの中盤頃、ずっとヒアリングに出席し続けていたある議員は「これまでの経緯（前回の国会で民主党が賛成した）とねじれ国会という現実もあるので、改正法案を全く出さないというのは厳しい。ただ、相談支援への懸念の声が大きいし、確かに利用抑制にもなりかねないので、相談支援の部分と障害の範囲の部分をペンディングにして、あとは提出させてもらうことになるかなあ」というような感想を漏らしていた。

ところが、11月に入り、随分と雲行きが怪しくなってきた。民主党の支持率の低下に、相次ぐ地方選挙の勝利、9団体による改正案の成立を求める声明等も相俟ってか、6月に廃案になった改正法案を一字一句変えることなく再提出を求める自民党

の攻勢も強まり、ついには民主党のヒアリング結果として、改正法案への賛否は、半々もしくは一部修正の上賛成を加えれば8割方賛成だったと報告された。

かくして改正法案再提出の道筋がつけられ、改正案の修正を求める終盤の働きかけもむなしく、前回廃案となった改正法案は本当に一字一句、何の修正もされることなく再提出された。一方国会は尖閣諸島のビデオ流出問題で、仙谷官房長官と馬淵国交大臣の問責決議の提出で審議がストップ。国会の会期末が刻一刻と迫り、一時は土壇場で踏みとどまった6月の再来か？と、改正案反対・慎重派の期待は高まり、連日の国会前行動を最後まで繰り広げた。しかし、すでに衆議院を通過していた法案は、国会の最終日となった平成22年12月3日に参議院の厚労委員会の採決と本会議が行われ、あえなく可決された。その翌日に開催された第16回政策研究集会では、つなぎ法案の成立にめげることなく、障害者基本法の改正に向けた二次意見をしっかりとまとめて前進して行こうと誓い合った。そして推進会議は12月17日に第二次意見をまとめ挙げた。

■ 大地震の晩に改めて思う

ここからは、2011年3月11日(金)東北地方太平洋沖地震の晩に、事務所のPCで書いている。東京は「震度5強」を記録した。地震発生時、私は事務所に居た。事務所の外では毎月恒例のバザーの開催中だった。スタッフが自動ドアのスイッチを切りドアを開放しにして出入口を2箇所確保し、まずは事務所の隣にある広めの民間の駐車場に皆で非難した。電柱が今にも倒れんばかりに大きく揺れ、電線が切れて落ちて来やしないかとハラハラした。昨年、防災研修で起震車による「震度5弱」を体験したが、その比じゃなかった。何秒くらい揺れていたのだろうか？実際には数十秒なのだろうが、2分くらい揺れていたように感じた。揺れが収まって事務所に戻ってみると、机の引き出しが飛び出していた。幸い大きな被害はなく、電気、水道、インターネットなどライフラインは保たれていた。ネットで情報を収集するとともに、利用者さん達とヘルパーさん達の安否確認に取り掛かった。一昨年から取り組み始めた防災対策の一環で、オリジナルの安否確認システムが始めて実践された。利用者、ヘルパーに一斉メールし、まずは無事かどうかと手助けが必要かどうかを確認するものだ。ほとんどが携帯メールなのだが、ドコモメールは送受信できたが、auとソフトバンクはなかなかつながらなかった。携帯電話はほぼ全滅。時々つながる事務所の固定電話とPCメールが頼みの綱だった。都内



の交通機関がストップしたため、介助にいけなくなったヘルパーのシフト調整を手分けして行った。そんな合間にも余震が断続的に何度も発生し、その都度駐車場に非難を繰り返す。区の注意警報みたいなものがどこかのスピーカーから流れているのは分かるが、何を言っているのかまるで聞き取れない。



聴覚障害者の不安を実感する。自宅に帰れない利用者さんをリフト車で事務所に迎え入れたり、連絡の取れない利用者の自宅を訪問し安否確認にスタッフが走る。自分を含め、自宅マンションのエレベーターが停止し、復旧の見通しが立たないスタッフ、利用者が事務所で待機する。皆の無事を確認できたのは、地震発生から4時間くらい経ってからだったろうか。4駅、8駅も離れた場所から、歩いて帰ってきたスタッフも居た。ニュースでは各地の被害を報道している。津波の被害がおびただしい。原発も深刻な状況になっているという。

エレベーターの復旧の見通しが立たないことと連絡窓口のため、皆で事務所で夜を明かす覚悟を決め、ラジオ、毛布、食料を調達。余震がなかなか治まらず、不安になった一人暮らしの利用者さんから、23時頃にSOSの連絡があり、リフト車で迎えに行くが、道路が大渋滞のため、普段なら往復で30分程度のところが2時間くらいかかった。でも無事辿り着いてくれて一安心。

被災地のCILでも、事務所に避難されている方が多い模様。理由は避難所が使いづらいからだという。改めて、地元の避難所である小中学校のバリアフリー化、街のユニバーサルデザイン化、社会のインクルーシブ化の必要性、重要性、有効性を実感しています。障害者の特性を参考にした街づくりは、災害に強い街になると改めて痛感しています。「地域で暮らす権利、インクルーシブ教育を認めたら、障害者関連にいったいいくらかけるのか？」との理由で障害者基本法の抜本改正に反対する官僚や政治家に声を大にして言いたい。障害者基本法の改正は、決して障害者だけのためのものではない。インクルーシブ教育を進め、地元の小中学校がバリアフリー化されていくことは、単に障害児の受け入れだけのためではないということが、これで解ったか！

しばらく国会がストップするという。「災い転じて福となす」と出来るかどうか。二次意見を何ら後退させない内容での障害者基本法の改正を実施できるか？（パラダムシフト）原子力発電推進をストップし自然エネルギー発電に切り替えられるか？（エネルギーシフト）これが超党派で出来るかどうかがこの国の行く末を占う試金石と言っても過言ではない。



ひびき
お笑い 長友 響 の 障害のある生活
しょうがい せいかつ

つだ ひろし
津田 浩史

えぬえいちけー ふくしばんぐみけい わら ひびき ながとも
NHKの福祉番組系「ハートネット」からお笑いコンビ響の長友さんが、
かそうししまひしょうがいしゃ にちじょうせいかつ す ばんぐみ せいさく すてっぶ
仮想四肢麻痺障害者になり日常生活を過ごす、という番組を制作するうえでSTEP
えどがわにきょうりよく いらい
えどがわに協力の依頼がきました。

ないよう たいけん か はけん
内容は体験ルームを借りたいのと、ヘルパーを派遣してほしいというもので、その
へるぱーに ぼく い かそうししまひしょうがいしゃ ながとも りようしゃやく かいじょ
ヘルパーに僕が行くことになり、仮想四肢麻痺障害者の長友さん（利用者役）の介助
をしに行ってきました。

とうじつ たいじゅう そうとう だいじょうぶ しんぱい いただ
当日、ディレクターさんからは、体重が相当あるから大丈夫かと心配して頂きました
たが、 ぼく として は リフター も ある し、 小林さん（介助役）も一緒に手伝って頂ける
と聞いてはいたので、「大丈夫です」と答えました。でも実は「居宅の現場のプロの
うでこーるひとり え と 撮るつもりで、それが、ディレクターさんのおも きょたく げんば
腕 = 一人できる画”を撮るつもりで、それが、ディレクターさんの思う居宅の現場
のイメージだった様です。今村さんも僕の補助で付いてきてもらっていたので、居宅
の多くは主にリフターを使うとフォローをしてもらい、僕の腰を救ってもらいまし
た。

さつえい ゆうしょく つく はじ からあ
撮影はまず夕食を作るところから始まり、メニューは唐揚げのみでした。
ちなみに 響さん達は、僕が入る前から2人で何日間か体験ルームで過ごしており、
しょく に こだわりある ながとも さんは 今まで 自分で 作ってきた
りょうり こうとう あいかた かいじょやく しじ
料理を口頭のみで相方さん（介助役）に指示をだして
りょうり つく つか しょうたいめん
料理を作ることに疲れてしまっている、また、初対面
のヘルパー（僕に）にいきなり指示を出すことに抵抗
を感じ、簡単で好きな唐揚げのみしたいということ
でした。

じつ ぼく からあ つく しょ ばな
実は僕は唐揚げを作ったことはなく、初っ端から
きゆうち ながとも しじ わ
窮地だったのですが、長友さんの指示が分かりやすく、



あいかた ぼく ほ ふ ふたり かいわ
相方さんが僕の褒めどころさがして振ったり、2人の会話がコントになっていて、
だんだんたの だんだんたの き
段々楽しくなってきました。

ただなぜか、から揚げを作るプレッシャーは、僕もどこかで何かしなきゃ（ボケか
つ こ ほう なが ちょうりちゆうすこ なや き
突っ込み）という方へ流れていき、調理中少し悩みました。【気になったので、つい
きゆうけいちゆう ながとも ぼく なに ほう よ たず
休憩中に長友さんに僕も何かした方が良いですかと尋ねてみましたが、「いつも通り
にやってもらえれば大丈夫です」といってもらいました（^^;）



つぎ で き あ からあ た ながとも
次に出来上がった唐揚げを食べるのですが、長友さんは
ひじょう なか す よう た た はん す た
非常に空腹が空いていた様で、炊き立てのご飯を直ぐに食べ
はじめました。長友さんの口へ入れる度にハフハフしながら、
つぎ あ つぎ はん
次から揚げまた、次にご飯をハフハフしながら、から揚げ
と繰り返し「小林さんがご飯熱くないのか？」と聞くと、か
く かえ こばやし はんあつ き
ら揚げが冷めているので、熱いご飯も口の中では調度良
なるしこの方が、から揚げ→米→から揚げ→米とリズムカル
に食べられるので良いと、言っていました。あ ながとも
た よ い はん い たび
にご飯を入れる度

ちよつと辛そうなところが見え隠れしているようでした。

お腹も一杯になり、次はシャワーを浴びることになりました。いきなり知らない人
に介助をしてもらうのに、抵抗感がでると言っていただけに自分の裸を見せるのと、
からだぜんたい あら かお こわば ぼく こばやし ながとも ふくぬ
体全体を洗ってもらうのに顔が強張っていました。僕と小林さんと長友さんの服を脱
がせ、リフターでシャワーチェアに乗ってもらい、浴室へ入りました。

かそうししまひしようがいしやいてーるけんじょうしや けんじょうしや せいじん あら きおく
仮想四肢麻痺障害者 = 健全者ですので、健全者の成人を洗ったことは記憶になく、
また、洗い方や力加減が違ふと思っていましたから、この時が一番緊張しました。

ぼく は、なるだけ普段の介助を意識してましたが、ネットやTVを見た方はどうだった

でしょうか？（^^;）ネットでの反応ではリフターの釣具の
ひも いちぶうらがえ
紐が一部裏返しになっていると突っ込みをもらってしま
いましたが…(>_<) じっさいにはシャワーの温度の確認から
かた うで どうたい ちからかげん ちが おも とき いちばんきんちよう
肩→腕→胴体→と普段どおりに洗っていき、徐々に安心
してきました。

ながとも
長友さんも、くすぐったさはあると言われてましたが、
さほど問題はない様子で、（ごめんなさい細かいやり取り
おぼ な
は覚えて無かったです）いざ、最後の最も大事な Point で、
ながとも は はずかしいので勘弁との声を上げ、すかさず
こばやし あら
小林さんが、「洗ってもらえ」と突っ込みが入りました。



ここまでは、打ち合わせで聞いてはいたのですが、小林さんから、ヘルパーさんはいつも「やっていることですよ？」「洗ってもらえますよね？」と聞かれたときはドキドキものでした。(；´Д`)

これは、本気で、洗う展開?! NHKでこれはありなの?! この空気は、僕には読めないが、とりあえずいつもやっていることなんだから…! 『はい、大丈夫ですよ』と答えました。



ここで、長友さんから再度勸弁してといわれ、小林さんもそこで諦めて、撮影は終了となりました。

やっぱり打ち合わせどおりで良かったんだ、と安心しました(^^);

終わってみて思うことは、仮想四肢麻痺障害者の介助も、普段の介助と大きく変わり映えはしないと感じたことです。つまり誰であれ、本人の意思を尊重・反映した支援をしていくことに、介助の意味があると僕は思いました。

それと、響さんとヘルパーとして関わったことは大変楽しく、介助を通して響さんの面白さや、ハングリー魂(力強さ)を感じました! 是非! もっとブレイクして欲しいです。



2010年 ボランティアフェスティバル&もぐら祭報告

ボランティアフェスティバルと もぐら祭に ダンスナクセイバーが やってきた！！

やあ！みんな！ダンスナクセイバーだよ！2010年7月11日にボランティアフェスティバルが開催され、2010年7月25日にはもぐら祭が開催されたんだ。今回もSTEPえどがわの皆と一緒に参加してきたぞ！

よ～し！『誰もが住みやすい街づくり』を目指して頑張るぞ～！！

～ボランティアフェスティバル～



↑STEPえどがわのブースでは
活動紹介をしていたぞ！



↑ステージではダンスナクセイバーショーを
やったんだ！皆の視線を釘付けだぜ！！



↑また現れたな！バリバリアン！
江戸川区をバリアだらけにはさせないぞ！！



↑ナクセイバーピンクはちびっ子達
に大人気なのだ！



←大変だ！御茶の瑞江博士が会場の熱気でダウン寸前じゃないか！！
今年もすごい盛り上がりだったね！！

～もぐら^{さい}祭～



↑すてっぶ STEP えどがわはバザーをしていたぞ！



↑またまたあらわ 現れたな！バリバリアン！！
 こ やつら 懲りない奴等め！！



↑なかなかやるじゃないか・・・
 このままではやられてしまう・・・

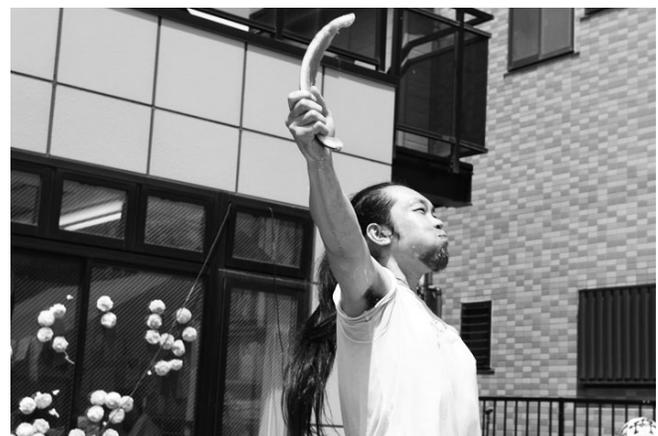


↑だれ す まち 「誰もが住みやすい街にしたい」という
 みんな きも 皆の気持ちでパワーアップ！！
 バリバリアンをたお こと 倒す事ができたぞ！！



←すてっぶしょくいん つだくん STEP 職員の津田君が
 はやぐ たいかい ちょうせん スイカ早食い大会に挑戦！！

つだくん みごとゆうしょう はで
 津田君が見事優勝！！なんて派手な →
 ガッツポーズなんだ！！
 ナクセイバーよりめだ 目立つなんて
 なかなかやるな！！



すてっこ STEPPY なつまつ 夏祭り

つちや みねかず
土屋 峰和

まいとし こうれい ひと なつまつ ことし ねん がつ にち ど
毎年の恒例イベントの一つ夏祭り。今年も2010年7月24日(土)
ゆうがた ゆうすず かいさい なつまつ す て っ ぶ じ む し ょ
に夕方から夕涼みもかねて開催しました。夏祭りはSTEP事務所での
かいさい こんかい かた さんか じむしょない
開催ですが、今回もたくさんの方にご参加いただき事務所内はチョ
まんいんじょうたい た もの の もの いろいろきかく
一満員状態！食べ物や飲み物も色々企画していくうちに、気が付いたら
らメニューは15品を越えていました。作っている方もビックリ！も
ともとさほど広くはない事務所ではありますが、ちょっと動くのも

たいへん
大変なくらいでした。

でも、そんな距離の近い空間にいるからこそ、自然と会話も生まれ楽しい時間を感じてもらえるのではないかなと思ったりもします。参加者には、いつも参加してくれている人はもちろんですが、「イベント初参加です」と言う方も必ずいらっしゃいます。そして、ちょっと久しぶりと言う方もいらっしゃいます。普段なかなか話をする機会のない方々とも、ちょっとしたきっかけから会話の生まれる事もあると思います。

また、イベント開催中だけではなく準備段階からお手伝いいただける方も多くありがたい限りですが、それらを通じ新たな繋がりも生まれていくように感じます。準備も意外と楽しかったりしますよ。

場所は毎回同じではあるけれど、そこには毎回違った空間があります。皆さんのおかげでそんな楽しい空間と時間を作ることがで

きました。ありがとうございます。次回も更に良い空間になるよう頑張りますので、是非遊びに来て下さい

ね。





ピア・カウンセリング セミナー



まるた きみえ
丸田 君枝

へいせい ねん がつ にち にち とうぶ
平成 22 年 8 月 22 日 (日) 東部フレンドホールにて、ピア・カウンセリングセミナーを開催しました。

リーダーは私「まるちゃん」こと、丸田君枝、サブリーダーは「ゆっこ」こと、さいたま じりつせいかつ くれぱすの 小林由起子さん、そして 30 名の参加者の方々にピア・カウンセリングを感じ合いました。

ピア・カウンセリングに初めて触れる人も多く、最初はみんなが緊張した面持ちだったのが、時間や話を共有しあうにつれ、空気も穏やかに、またみんなの表情がキラキラしていくのを感じました。

セミナーと言う短い時間の中での体験しかないのに、こんなに色々な人を気持ち良くさせてしまうピア・カウンセリングの魅力と、輝いているみんなの力に嬉しくなりました。



出張!

STEP
 おてつと

うきうき

バザー

東部区民館
 とうぶくみんかん

&

葛西「滝野公園」
 かさい たきのこうえん

おおたき りょうこ
 大瀧 涼子

2010年の夏はとても暑かった…。連日30度を上回る日々。熱すぎて日中は出歩くことが出来ないほど。そんな暑い夏、STEPつ子バザーはいつもの事務所を飛び出して出張バザーを8月29日に東部区民館と9月5日に滝野公園(葛西)で2回行いました。



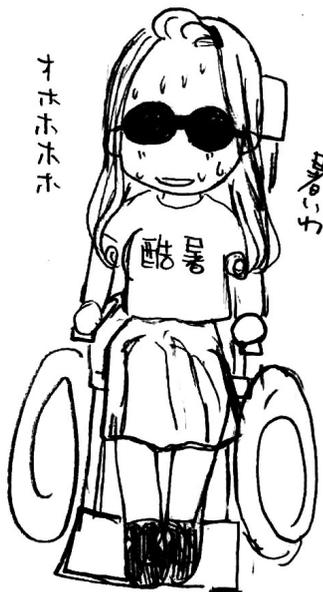
普段は事務所前で毎月販売を行っていますが、事務所前は人通りが少なく、来ていただける方も顔なじみになるほどです。商品が毎回変わるわけでもないののでつい行き詰っていたのですが、縁があり2つの大きなバザーに参加することに!!

たくさんの人にSTEPえどがわを知ってもらえるチャンスだ!!とチラシを用意して、たくさんの商品の提供を受け、お手伝いをしてくれる人を探し参加をしました。

東部区民館で行われたバザーは駐車場を開放しての開催でした。当日は最高気温34度を超える真夏日。屋根も無い野外。アスファルトは照返しもきつく朝からみんなで「暑い暑い」とうわごとのように繰り返すばかり…。しかしながら事務所前と違いたくさんの人!!値切りもみなさんうまい!!あれよあれよと値切られながらも売れていきました。

滝野公園もやはり真夏日。公園だったのでこちらはまだ木陰があり助かりました。東部区民館で配ったチラシを見てくれた人もいたようでびっくり。その後も事務所に問い合わせの電話がチラホラ。暑い中頑張った甲斐があった～。

余談ですが9月5日は市川さんの誕生日!丸田さんが気づき、



ぷちお祝いをしました♪おめでとーございます。

炎天下の野外で辛くもありましたが、チラシもたくさん配れSTEPをアピールできたのでよかったです！！

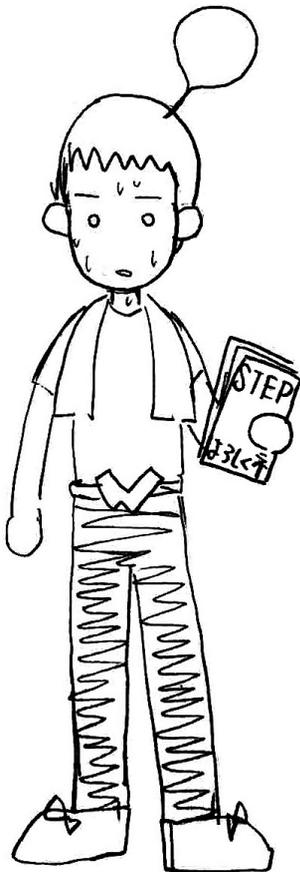
私達も住んでいるよ！！こんな活動しているよ！！

もっともっとたくさんの人に知ってもらいたいなー。

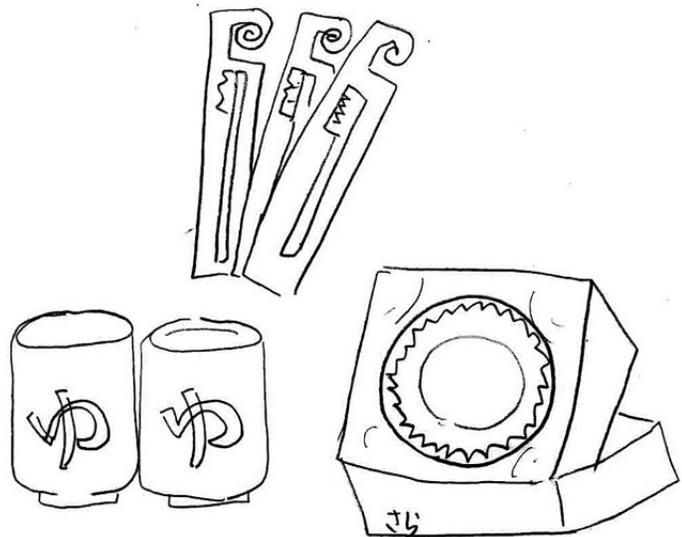
今後も出張バザーを考えています。バザー情報やお手伝い希望者！！ぜひSTEP事務所までご連絡ください！！

出来たら春や秋の過ごしやすい季節で参加したいです（笑）

※バザー提供品は常に募集しています。ご家庭で使わないものなどがありましたらぜひ事務所までお持ちください。



提供 ありがとう
ございました。





わたなべ じゆんこ
渡邊 順子

10月2日、篠崎公園で、開催されました。天気も良く、バーベキュー日和でした。もちろんバーベキューや食べ物や、お酒を飲んでしまったりしました。

輪ゴムリレーをやって、私のチームはチームワークが良かったのが優勝しました。まさか、優勝

できると思わないので、嬉しかったです。

暑くもなく、寒くも無い日だったので、とても気持ちのよい日でした。参加者の皆さんも楽しそうでした。

また、他の団体の方の参加も多く、秋の行楽をエンジョイしているみたいでした。本当に天気がよくて、風もなくて、心地良い日でした。





じゅつてんにーきゅー ぜんこく
10.29 全国
だい
大フォーラム

いま すす しょうがいしゃせいどかいかく
今こそ進めよう！ 障害者制度改革
じりつしえんほうはいし
自立支援法廃止と
しんぼう たし
新法づくりを確かなものに

まるた きみえ
丸田 君枝

じゅつてんにーきゅー ぜんこくしゅうかい しょうがいしゃせいどかいかく じりつしえんほうはいし しんぼう
10.29 全国集会は、障害者制度改革をすすめ、自立支援法廃止と新法づくりを
たし ぜんたい まんにん しゅうかい ひびやがいのんがくどう はい
確かなものとするため、全体で1万人の集会となりました。日比谷野外音楽堂に入り
こうせいろうどうしやうまえ ひと
きらず、厚生労働省前にも人があふれました。

おとし まんにん しゅうかい だんじょう ながつまこうろうだいじん しょうがい ひと せんげん きず
一昨年、1万人の集会の壇上で、長妻厚労大臣は、「障害のある人たちの尊厳を傷
しょうがいしゃじりつしえんほう はいし せいど たにま しんぼう やくそく
つけた障害者自立支援法を廃止し、制度の谷間をつくらぬ新法をつくる」と約束し
ました。

こんかい こうせいろうどうしやう せいむかん しゅうかい さんか はつげん しゅうかいせんげん う
しかし、今回は厚生労働省の政務官が集会に参加し発言したものの、集会宣言も受
と かえ こっかいまえ ぎいんめんかいじょ こっかいぎいん むか
け取らずに帰ってしまいました。また、国会前では議員面会所で国会議員がデモを迎
つうれい か こ みんしゅとうぎいん どうぜん なら いっしょ
えるのが通例となっています。過去では民主党議員も当然そこに並び、「一緒が
さけ こんかい みんしゅとうぎいん ひとり でむか
ばりましょう！」と叫んでいました。しかし、今回、民主党議員は一人も出迎えない
たいおう わたし かおむ なに
という対応でした。きっと、私たちに顔向けできない何かがあったのでしょう。
こんかい しゅうかい たい みんしゅとう たいおう ことば
今回の集会デモに対する民主党の対応に言葉もありませんでした。

わたし どう たたか
ですが、私たちは、党と戦いたいわけではありません。

どんな どう せいど であらうと制度であらうと、私たちは「地域で当たり前
あきら うった つづ ちからづよ い ぬ じつげん あらた
生きる」ことを諦めず訴え続け、力強く生き抜き、実現することを改めて
な かま かくにん しゅうかい
仲間と確認する集会となりました。



いのち たいせつ
~どんな命も大切にしたい~

ちゃくしょうまえしんだん かんが

着床前診断を考える

ワークショップ

しんけいきんしっかん まるた きみえ
神経筋疾患ネットワーク 丸田 君枝



ねん がつ にち にち かんとう かんさいどうじかいさい
2010年11月21日(日) 関東と関西同時開催!!

だい かいさい
という大アピールで開催しました。

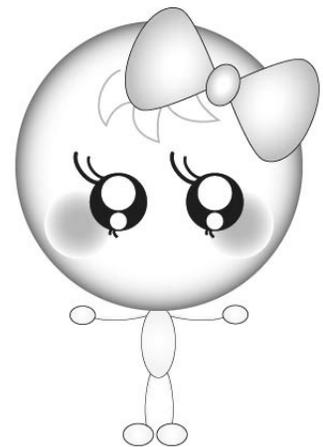
かんとう とうきょうりょうどく こくさい
関東は、東京両国の「国際ファッションセンター
ビル」、かんさい きょうとえきまえ
関西は、京都駅前の「メルパルク京都」で
かいさい りょうかいじょう やく めいぜんご さんか
開催し、両会場とも約25名前後の参加となりました。

こんかい
今回は、ロールプレイを通じ、「着床前診断に迷うお母さんとお父さん、薦めるお
か あ いしゃ しーあいえる ゆうじん は き
義母さん、お医者さん、C I Lの友人、そして破棄されてしまうかもしれないたまご
ちゃん」の役割を皆さんに演じてもらい、それぞれの立場の気持ち、揺れ動く思いを
かん あ
感じ合いました。

なか
その中には、「あんなにお医者さんやお義母さんに薦められると、着床前診断は受け
ほう よ おも ははおやひとり せんたく せま き
る方が良いんだと思った」「母親一人に選択を迫られているような気がした」、また
「C I Lの友人がいてくれて心強かった」「生きたい!!というたまごちゃんの気持ち
しーあいえる ゆうじん こころづよ い きも
を伝えるのに必死になった」など、立場の違いで様々な感情があったようでした。

そしてグループディスカッションでは、「あなたにとってしょうがい
かなればしょうがい いても生きられる?」など、いくつかの
はなし き あ ふか ひろ かん あ
テーマで話を聞き合い、より深く広くそれぞれが感じ合え
たのではないかと思います。

かんとう かんさい つか か うた
また、関東と関西でスカイプを使い、替え歌ゲームや
かんそう ちゅうけい おも いじょう つな
感想などの中継をしました。思った以上にうまく繋がら
ず、歯がゆい部分もありましたが、離れていても私たちは
はな わたし
繋がりに、力を併せ持てば、しょうがい ひと しゃかい か
力強く生きていけることを感じました。



TAMAGOchan



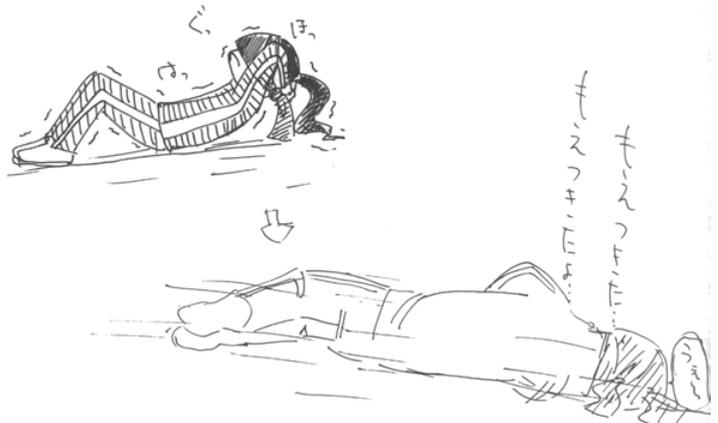
今回は、神筋ネットの活動にご理解とご協力をお願いする
 ため、初のグッズ「たまごちゃんクリアファイル」も販売し、
 参加者の皆さんにご協力いただき、またキリン福祉財団様よ
 り助成を受け、開催することができました。

ありがとうございました。売上げは当会の運営に大切に扱わ
 せていただきます。

少しでも多くの方と「生きる」ことを共有し、考えていき
 たいので、講演依頼やグッズ購入希望も随時受け付けており
 ます。どうぞお気軽にお問い合わせください。

ちやくしょうまえしんだん
 「着床前診断」とは

ちやくしょうまえしんだん たいがいじゆせい つく しょうがい じゆせいらん ちやくしょう ほうほう
 着床前診断とは、体外受精によって作られた障害のない受精卵を着床させる方法です。
 しょうがい じゆせいらん ばあい はいき
 障害のある受精卵の場合は廃棄されてしまいます。





おおたき りょうこ
 大瀧 涼子

12月23日（祝木） 東部区民館のホールで
 クリスマスパティーをしました！

当日は大人65名、子ども14名と多くの人
 が集まりました。子どもは過去最高！？年々数
 も増え、来年はもっと増えるのですね。
 おいしい料理に楽しいショーを見ながら、み
 んなでワイワイ。手が足りないところは補い

合う。これぞ楽しみながらのインクルージング教育？！

かわいい子どもたちや清野さんの歌。ねえさんの素敵なトランペット。STEP
 嵐の歌と華麗なダンス。そしてSTEPが誇る最高のエンターテイメントショー「ダ
 ンサナクセイバー」たくさんの感動と笑いをありがとう！！来年も皆さんよろしく
 ね。







とうほくかんとうだいしんさい じんたい ひがい あ みなさま みま もう あ
東北関東大震災で甚大な被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。

わたし ぜんこくじりつせいかつ きょうぎかい ほかおお しょうがいしゃかんけいだんたい
私たち、全国自立生活センター協議会、その他多くの障害者関係団体
ひさいち しょうがいしゃ だいしきゅう か けいぞくてき しえん ひつよう かんが
で、被災地の障害者へ大至急、且つ継続的な支援が必要と考え、
とうほくかんとうだいしんさいしょうがいしゃきゅうえんほんぶ た あ
「東北関東大震災障害者救援本部」を立ち上げました。



すてっぶ もよ えきまえ えきこうない ぼきんかつどう
STEP えどがわでも最寄り駅前と駅構内にて募金活動
おこな おお なかま かんぱん つく おお こえ
を行いました。多くの仲間で看板やビラを作り、大きな声
おも さけ きも おお つうこうにん とど
で思いを叫び、その気持ちが多くの通行人にも届き、たく
しえん あた おうえん ことば いただ いちにち はや あんしん じりつせいかつ
さんのご支援や温かい応援の言葉を頂きました。一日も早く、安心した自立生活が
でき すてっぶ いちがん おうえん
出来るよう、これからもSTEP えどがわ一丸となって応援します！

ぼきんかつどう わたくしども おどろ えん あつ ぜんがく
募金活動では、私共も驚きの1,144,511円が集まり、全額
かききゅうえんほんぶ ふ こ ぼきんかつどう さんか かた
を下記救援本部へ振り込みました。募金活動に参加された方、
つか さま ぼきん いただ かた
お疲れ様でした。募金して頂いた方、ありがとうございます。



ひさいち ひなんじよ ひつよう いりょうぶっし とど かいじょしゃ た
被災地では、避難所にもいけない、必要な医療物資が届かない、介助者が足りず
にちじょうてき こうい でき おお しょうがい も なかま と のこ しえん ま
日常的な行為も出来ないなど、多くの障害を持つ仲間が取り残され、支援を待つて
います！！

みなさま きふきん よ ひさいち しょうがいしゃしえん やくだ おも
皆様からの寄付金をぜひお寄せください。被災地の障害者支援に役立てたいと思
ます。皆様のご協力、よろしくお願ひします。

かつどうじょうきょう まいにちあつづ らん
活動状況は、こちらのブログで毎日UPしていますのでぜひご覧ください。

<http://shinsai-syougaisya.blogspot.com/>

とうほくかんとうしょうがいしゃきゅうえんほんぶ せんようこうざ
■東北関東障害者救援本部の専用口座■

ゆうびんふりかえこうざ
●郵便振替口座 00140-7-429771

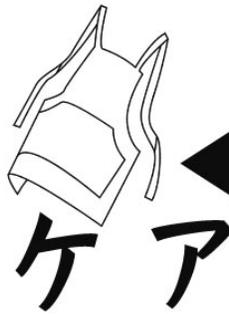
こうざめいぎ とうほくかんとうだいしんさいしょうがいしゃきゅうえん
口座名義：東北関東大震災障害者救援プロジェクト

ぎんこうふりこみ ばあい
銀行振込の場合は、

●ゆうちょ銀行 店番 019 (ゼロイチキュー) 当座 0429771

こうざめいぎ とうほくかんとうだいしんさいしょうがいしゃきゅうえん
口座名義：東北関東大震災障害者救援プロジェクト

かいごしょく
介護職の
医療ケア
いりょう



解禁!?
かいきん

いちかわ ひろみ
市川 裕美

かいごほけんせいど (平成12年4月) から10年、現場では非医療者の
いりょうこうい いりょう 医療行為・医療ケアにおける混乱について絶えず様々な声があがり検討され現在に
いた 至っている。

その中なかでもとりわけぎろん議論されてきた、たんの吸引・胃ろう (経管栄養) について、
ついに22年ねんの夏頃から本格的に審議がなされ、来春にはその形が出来上がる勢いにな
なっている今、そのあたりのお話を是非皆さんにも一緒に考えて欲しいと思い取り上
げることとしました。



日本では「医師法」によって医師の免許を有しない者が
「医行為」を「業 (仕事)」としてはいけないとされている。また
「保健師・助産師・看護師法」によりこれらの免許を有するもの
は医師の指示のもと、一定範囲の医行為を行なう事を「診療の
補助」として認めている。つまりこれらの法律によって介護職
が医行為を行なう事を規制している。

医療技術・医療機器の進化、入院期間の短縮化が進む中、病院以外の場所
で「医療」を継続的に使って日常生活をおくる人が増加の傾向にある事などから
「日常生活を支える介護職等にも一定の条件を設けた上で認めるべき」「そもそも
法律において位置付けるべきではないか」という声があがっている。こうした事から
今回、まずはたんの吸引・胃ろう (経管栄養) について、必要なものに対して必要な
医療ケアをより安全に提供し、提供する側・される側双方にとって安心できる仕組み
として介護職員等による実施のための法制度や教育・研修の在り方について検討を行
うこととなった。

今日までの流れとしては、まず、ALSという障害団体が介護職に吸引を認めて欲
しいと声をあげ、一定の条件の下でそれを認める事となった (15年7月)。

その後、特別支援学校等における教員においても安全に行なうための試行事業をふ

ま え、 一 定 の 条 件 下 で 吸 引 ・ 経 管 栄 養 ・ 導 尿 等 に つ い て 認 め る (16年10月)。

更 に A L S 以 外 の 在 宅 療 養 患 者 ・ 障 害 者 に も 吸 引 を 認 め る (17年3月)。

更 に、 特 別 養 護 老 人 ホ ー ム で は 一 定 の 条 件 (研 修) の 下 で 介 護 職 に 吸 引 を 認 め る こ と と し た (22年4月)。

こ れ ら は 「 医 行 為 で あ る (介 護 者 の 本 来 業 務 で は な い) が や む を 得 ず 行 な う 行 為 」 と は っ き り 表 記 さ れ、 研 修 等 の 一 定 条 件 を 満 た し た 上 で の み 認 め ら れ る が、 そ れ は 利 用 者 ・ 介 助 者 の 個 人 契 約 の 下 に 成 り 立 ち、 (介 護) 事 業 所 の 関 与 は 不 適 当 で あ り 強 制 し て は な ら な い と さ れ て い る。

そ の 為、 万 が 一 の 事 故 の 際 の 補 償 が な く、 研 修 に よ る 人 件 費 の 確 保 や そ も そ も の 介 護 報 酬 の 加 算 等、 一 切 の 金 銭 的 な (事 業 所 と し て の) メ リ ッ ト が 無 い。

実 際 に 医 療 ケ ア を 行 う に は 医 療 職 か ら の 研 修 を 受 け、 現 場 で の 研 修 を 積 み 一 人 の 介 助 者 を 育 成 す る に は 多 く の 時 間 を 要 す る 上 に、

そ も そ も 重 度 訪 問 介 護 の 報 酬 単 価 が 安 い。 そ ん な リ ス ク が 大 き く 報 酬 が 少 な い 上 に コ ス ト (人 件 費) の か か る 割 の あ わ な い ケ ア を 提 供 す る 事 業 所 は 殆 ど な く、 形 の 上 で は 認 め た も の の 実 際 に は 殆 ど 機 能 し て い な い 状 況 に あ る。

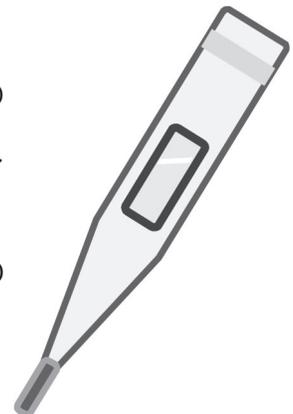
今 回 の 検 討 会 で は 22年4月 の 特 別 養 護 老 人 ホ ー ム に 認 め た 形 を 在 宅 等 に も 反 映 さ せ よ う と す る も の で、 ま ず は 医 療 者 に 指 導 者 と し て の 研 修 を 受 け さ せ、 そ の 医 療 者 か ら 50 時 間 程 度 の 基 礎 研 修、 そ し て 現 場 で 20 時 間 の 実 施 研 修 を 受 け る 事 で 認 め る と い う 案 が 挙 が っ た。

「 医 療 ケ ア ヘ ル パ ー (仮 称) 」 と い う 新 し い 資 格 を 設 け る と い う 案 や、 介 護 福 祉 士 に 限 定 し 介 護 福 祉 士 の 教 育 課 程 に 医 療 ケ ア を 盛 り 込 む と い う 案 も 挙 が っ て い る。

し か し、 現 状 直 ぐ に 移 行 す る に は と り あ え ず 現 場 で 働 く 人 に 研 修 を 受 講 さ せ て 即 戦 力 と し て 育 成 し て い く 事 が 必 要 と い う 事 で 上 記 案 が 有 力 と な っ て い る。

た だ、 在 宅 医 療 ケ ア の 場 合、 介 護 者 は 特 定 の 利 用 者 の ケ ア が 出 来 れ ば 問 題 な い わ け で、 長 時 間 か け て 広 く 一 般 的 な 知 識 ・ 経 験 を 得 る 必 要 は な い。 ま た、 利 用 者 に し て も 一 人 の 介 護 者 を 育 成 す る の に 20 時 間 も の 実 施 研 修 を、 そ れ も 特 定 の 医 療 者 か ら 受 け る と い う の は 現 実 不 可 能 に 近 い。 そ の 為、 特 定 の 利 用 者 に か か わ る 介 助 者 に つ い て は 上 記 と は 別 の 研 修 プ ロ グ ラ ム が 検 討 さ れ、 現 状 の 研 修 に 近 い 形 で 行 な わ れ る よ う、 要 望 が 挙 が っ て い る。

ま だ ま だ 検 討 の 最 中 で あ り、 こ の 先 ど う な る か 分 か ら な い け れ ど い ず れ に せ よ 今 年 度 に は あ る 程 度 の 方 向 性 が 出 る 見 通 し。





今回の検討会は吸引・胃ろうに限った事だが、それを受けて排泄等それ以外の様々な医療ケアについても順次検討がされていく事と思われる。

ココから先は私的意見なのですが・・・

そもそも医療者と介護者の違いは何なのか？

一般的に考えられている「介護福祉士」とは介護のエキスパートで介護に関する相談、アドバイスなど、利用者の状況を見て適切に行なえ、最適なケアを提供できるような人というイメージで、恐らく国や福祉制度を考えている人たちもそういう人を求めていると感じている（そもそもこの考え方が「どうなの??」と思ってしまうのですが・・・）。

とすると、介護職に医療ケアを解禁するという事は医療ケア（日常生活における医療）までも一定の研修を受けた介護職がその利用者の状況に応じて適切な判断をしてケアにあたる事を求められるのではないかと懸念してしまう。また、研修を受けた介護者が表面的な知識だけで医療者気取りになってしまう事も大いに起こりうる事と懸念している。

また、利用者においても「医療者」と「介護者」の役割を混同し、「介護のプロ」に「医療のプロ」を求める人も出てくる可能性がある。そうなってしまうと「医療者」と「介護者」は何が違うのか？「訪問看護なんて要らないじゃん・・・」なんて事になりかねない。

恐らく看護協会や医師会が介護職に医療ケアを解禁する事に難色を示しているのは自分たちの職域を侵される事を懸念しているからで上記の考えがあるからこそなのではないかと思う。

私は在宅の医療ケアについて次のように考えている

医療ケアは在宅で突発的に始まるものではない

多くの医療ケアは医療機関において導入され、在宅へ持ち帰る事となる。自分でできる人は自己の病態生理、医療ケアの効果・起こりうる危険性等を十分に理解し、自己の手技鍛錬の上、自己の責任のもと行なっている。

必要があれば医療機関に相談したり、再指導を受けたりしている。

であるならば・・・ ↓

基本的に在宅医療は医療機関の指導の下、自己の責任で行なわれるべきである。



つまり、自ら（本人又は家族）が受けた指導を介助者等（非医療者）に自らが指導出来るまでの知識を持って始めて非医療者に委ねるべきで、非医療者と医療者の役割を利用者本人が明確に知っていなければならない。つまり、「在宅医療（医療ケア）を誰に任せるかの選択権とその責任は本人（家族）にある」という事が大前提であり、ケアを受ける本人（家族）が責任を持ち、どの部分を医療者に依頼し、どこからは介護者に依頼するのか決められる融通性を持たせる事が必要ではないかと考える。（自分で責任が持てない事は、基本医療者の範疇にするべき。）一律にこのケアは介護職に解禁する・しないという事を決めるべきではないと考える。



医療者の立場

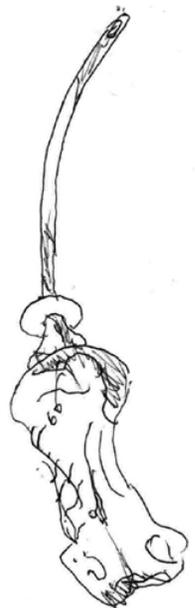
医療者（特に訪問診療・看護など）は本人・環境等の状態観察により在宅医療が適切に行なわれているか、本人の理解度等の確認、必要時再指導（場合によって直接ケアに係る非医療者への指導）、状況によっては医療の関与等の判断などを行ない、利用者本人の意向を踏まえ、健康状態の維持をトータル的に見る事の出来るアドバイザー。

ケアに係る非医療者の立場

本人（又は家族、場合によっては医療者）の指導の下、忠実に技術を提供できるような実施を中心とした研修を受け日々の直接ケアにあたる事とするが、本人の認識や医療機関の協力体制、他、事業所としての技量や体制、ケアの具体的な内容等、事業所として安心・安全にケアを提供できるかどうか判断する。あくまで各事業所、ケアの内容や利用者の状況によって提供する・しないの選択権を残すべきであると考えます。

このように、医療者・介護者・利用者それぞれの立場や責任の所在などを明確にし、連携がとれる体制を作っていかなければ、どんな研修をしても混乱は避けられないと感じている。

もともとの（訪問）看護師の経験と、STEPを立ち上げて8年、当初から医療ケアを提供してきた事業所・介護者の立場から思うところを書き綴らせていただきました。



勝矢光信の情報発信コーナー

かつや みつのぶ
勝矢 光信

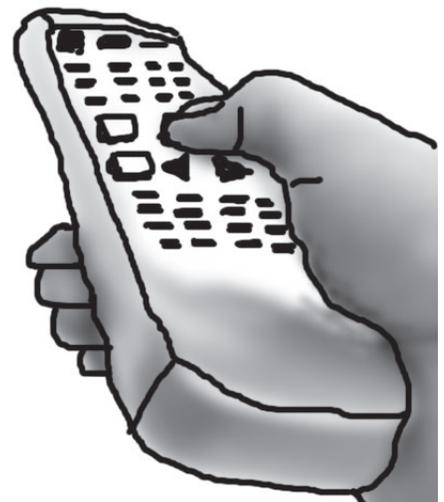
最後のエレベーター：

新宿線は、あと一駅のエレベーターが完成すれば、全駅がバリアフリーになる。今、最後のエレベーター設置工事に入った。都営地下鉄新宿線「曙橋駅」のエレベーター工事がいよいよ始まった。都の「お知らせ」によると2010年5月21日から、2011年10月末日までが工事期間となり、その間はA3は閉鎖となる。私としては、目の黒いうちに、自分のやってきた運動「10号線（新宿線）解放委員会」の完了を自分の目で見られてうれしい。歴史は、自然に変わることはない。戦いによって、変えるものであると実感している。



リモートコントローラー：

1本のリモートコントローラーで、クーラー2台、TV2台、リフト、電灯を操作できるようになった。「学習機能付きリモートコマンダー」(SONY R M - P L Z 5 1 0 D)を使い始めた。リフトで宙吊りになってショックが大きかったので、軽い力で操作できるコントローラーを探した。そして、もしかしたら外国製リフトなので、日本製リモートコマンダーは使えないかもしれないという恐怖も杞憂となった。容易に使いこなせて、1本であらゆることができる。驚きと感動であった。方向を定めなくても、電波が飛ぶ。やや重たいが、押す力が無くても、軽く押せる。これが一番である。とても快適な生活になった。運命に負けてはいけない。便利な物を生活に活用するために、お互いに情報を提供しあい、共有していくことが重要と感じている。



なつ
夏のプール：

なつ うつく
夏のプールは美しい

だんばら むかし びじょ みずぎすがた
3段腹の昔の美女たちの水着姿ではない

たいよう はんしゃ みず つく だ
太陽の反射と水のゆれが造り出す

みずもよう
水模様

ごご つよ たいよう ひかり
午後の強い太陽の光が

そこ さ
底まで刺しこみ

ゆ すいめん はんしゃ
揺れる水面に反射して

むげん へんか
ゆらゆらと無限に変化している

とき と しまつた しず なか
時が止まった静けさの中

みずもよう とき けいか
水模様だけが時の経過をしるす

せんご にほん
戦後の日本があこがれた

アメリカを象徴するプール

プールのある景色の中で

ひとときわ美しいと感じたのは

すいちゆう わかもの すがた
水中でたわむれる若者たちの姿ではなく

あか ゆた
明るく豊かなプール

ひんこん し
貧困を知らないかのような

しず
静かにゆれるプールの

すいめん かがや
水面の輝きであった

いま じぶん
今、自分はプールぎわで

たんじゆん び たの
単純な美を楽しんでいる

たいよう はんしゃ みず つく だ
太陽の反射と水のゆれが造り出す

みずもよう
水模様

たんじゆん び わたし こころ
単純な美は私の心にしみた

たんじゆん び
単純さこそ美なのだった

わが じんせい
わが人生も

かぎ たんじゆん
限りなく単純でありたいと

こころ なか ねが
心の中で願った



あた あた しゃかいそうぞう
与える・与えられる社会創造：

ヘルパー制度が始まって、毎日社会の人と全く出会わない生活から、ヘルパーさん

を通じてさまざまな情報を得られる生活に変わった。ヘルパーさんも、自分自身が

一方的に与えているのではなく、障害者から多くを得ているのではないだろうか？与

え・与えられる社会になること、出会いの場を増やすことは、社会発展の契機になる。

つまりは、障害者が一方的に恩恵を受けると考えないで、与え合っていく中で、新し

い社会創造に立ち向かう。こうした前進的社会行動は、GNPの増加だけを目標にし

ていた産業資本中心の過去の日本社会よりももっともって発展性があるのではなから

うか？これからの社会に絶望しないで、夢を持って良いと思う。ヘルパーさん、あり

がとう！

くりうらくせんえんにゆうしよしやしょうげんしゆう
栗生楽泉園入所者証言集：

じじつ しようせつ き なり というが、くりうらくせんえんにゆうしよしやしょうげんしゆう かんせい ま なく
 事実は小説より奇なりと言うが、栗生楽泉園入所者証言集の完成を待たずしてお亡く
 なりになった患者さん・今も病氣と戦っている患者さん・元看護師・医師・裁判のた
 め証言を集め回った弁護士の方、そして、福岡・黒坂先生・学生の記録コラボ
 レーションは、貴重なる図書として世に出された。35年間に18回訪問した私にとって、
 すでにお亡くなりになって記録に残せなかった千余人の霊を思うと、歴史を生の声で
 記録することの重要性を、この三巻ほどまざまざと示す物は他に無いと感じた。多く
 の人に読んでいただきたい。詳細な歴史記録である「風雪の紋」に語られた歴史以上
 に、生の声が語りかける歴史は重かった。実体験であるがために、悲劇だけではない、
 ありのままの記録であって、喜怒哀楽こもごもの人生そのものを知った。患者側だけ
 でなく、歩みを共にして下さった方々の悲哀や緊張感も知ることができた。尊い命
 はとりもどせないのだから、生きて記録を残すことで、未来の医学に命を吹き込むこ
 とになると感じた。命を大切にしない医学は、権威を増長させることになる。患者さ
 んは世話になると言うが、患者さんから学ばせてもらうのだから、「お互いさま」で、
 ハンセン病患者さんがたに「生きる本質を教えてくださいありがとうございます」と言いたい。
 日本は戦後、すごいエネルギーで社会変革をしてきたが、腹が満たされて、社会を変
 えていく力が弱まった。「社会をリハビリ」する必要を私たちは感じている。

ことし
今年：

にようぼう かみさま み
 ゲゲゲの女房、トイレの神様など、「見えないけど、きつとい
 る」存在が私たちを守り続けているのが、ブームのようになっ
 た。コンピューターの普及で日本社会も世界も急速に変わっ
 ていく。価値の最高位に、神でも金でもなく他の何かにいこ
 うしつつある。目に見えない何か、やさしさ、あたたかさか？



むりよう
無料：

コンピューターネットワークでは
 ソーシャルネットワーキングサービス SNS が広がって
 さいしょ いりぐち むりよう
 最初の入口は無料だが、
 おく はい ゆうりよう
 奥に入ると有料になる
 じようほうていきよう
 ゲームも情報提供も、アンチウイルスも
 さいしょ むりよう さそ
 最初は無料で誘ってきて

ひつよう ゆうりよう
 必要となると有料になる
 これもビジネスで
 むかし つか はんばいしゅだん
 昔から使われている販売手段である
 ぜんたい いちわり ひと なが
 全体の1割の人が流されてしまうという
 じせいしん な
 自制心が無いと
 じぶん
 自分もながされてしまう
 こどもたち えいきよう しんぱい
 子供達への影響がとても心配である

自立生活を始めて



わたなべ じゅんこ
渡邊 順子

きよねん いちがつちゅうじゅん か ひとり くらし はじ とうしょ びょういんせいかつ
去年の一月中旬からアパートを借りてひとり暮らしを始めて、当初は病院生活が
なが じぶんひとり な いわかん
長かったもので、自分一人になることが無かったもので、違和感があったのですが、
いっかげつ にかげつ た な ね ととき さく な ね
一ヶ月、二ヶ月と経つうちに慣れてきました。寝てる時にベッドに柵が無くて、寝ぼ
けてベッドから落ちてしまった事があり、その時にドアチェーンをかけていたので、
けいさつ よ まど わ はい
警察を呼んで窓ガラスを割って入ってもらったことがありました。その経験があった
もので、ドアチェーンをかけずに寝ることにし、ベッドの柵もしっかりと付けておい
てます。

かいじよじかん くみた かいじよじかん なか
介助時間の組立てもあまりよくわかっていなかったのですが、その介助時間の中で
ゆうせんてき さき のこ じかん なか ひびこま
優先的にやってもらうことを先にやってもらって、残り時間の中で日々細かいことを
しじ ところ
指示してもらうように心がけています。

まだまだ はじ べんきょう たくさん おも おも
まだまだ始まったばかりでこれから勉強することも沢山あると思います。思いがけ
ないこととつまづいたりもありますが、まわ かたたち いけん みみ かたむ さんこう い
周りの方達の意見に耳を傾けて参考にして行
きたいと思います。

くろう たの たくさん おも じりつせいかつ はじ
苦労もありますが、楽しいことも沢山あると思います。これから自立生活を始めよ
うとする人達に話を聞かせて行ければ良いと思います。

じっさいじぶん おお てさぐ すす い かん
実際自分でやってみないとわからないことが多いので、手探りで進んで行くような感
じですが、やってみようと思う気持ちが大切だと思うので、まわ かたたち きょうりよく
周りの方達の協力もあり
ますが自分の意思を固く持つことが大切だと思いました。

ヘルパーさんたちのあそびば

だいさんじゅういっかい いしい たけし 第三十一回：石井 武志

ヘルパーの石井武志です。よろしくお願ひします。

突然ですが、亡くなった祖父から聞いた不思議な話を紹介します。

祖父は長崎県佐世保市近郊の出で、祖父の父は棺桶職人を生業としていました。
(昔は土葬なので、亡くなった人は焼かれずに四肢を折り曲げた状態で棺桶に入れられ、地中に埋葬されていました。ですから、棺桶は文字の意味どおり、「棺」の「桶」なわけで、大きさも想像に難くないと思います)

祖父の父はその棺桶を、母屋に併設された作業所で、せっせと作っていたそうで、こしらえた完成品は作業所の片隅に常時4～5個程、保管されていました。

祖父たちの寝床は、その作業所の隣にあり、そこで家族そろって寝ていたそうです。

その寝床で、子供だった祖父は、不思議な体験をしました。

以下がそのあらましです。

祖父は深夜に、何故だか目が覚めてしまうことがあったといいます。
別段、そのこと自体、不思議にも思っていなかったそうですが、或る夜、どうやら自分は「音」によって覚醒させられていることが分かりました。

そして、その音は、作業場の方から聞こえてくるらしいのです。

音は異常に乾いていて、パーン、と響き渡っていました。

祖父は、もともと棺桶が置いてある作業所を薄気味悪く思っていたので、その作業所から聞こえる音を大変怖く思い、その夜、寝ていた父を起こしました。

そして、「あの音は何なのか？」と聞いたそうです。すると、祖父の父は、

「あれは、棺桶を組んでいる竹が弾けた音だ」

「死人が、自分の入る棺桶を選びに来ていて、気に入った棺桶の竹をああやっ
て弾いて合図しているんだ」

と言ったそうです。そして、大丈夫だから寝なさい、と、祖父を寝かしつけました。

棺桶は形状を保ち、強度を高めるために、周囲を竹の表皮を編んだ縄で組んで
あるのですが、それが弾けた音、つまり、切れた音だと教えてくれたのです。しかも、
祖父の父の話だと、死人がその竹縄を弾いていくのだというのです。

祖父の話では、竹縄が切れると、翌日に不思議と棺桶の注文が入り、祖父の父は、
必ず注文に、「死人が選んだ棺桶」で答えていたといいます。

もちろん、竹縄は新しいものと組み直してです。

そんな話を、亡くなった祖父に聞かせてもらいました。



へるぽーさんたちのあそびば

だいさんじゅうにかい ほそがい えいこ 第三十二回：細貝 栄子

す て っ ぶ さんにお世話になって、はや ねん かげつ 3年11ヶ月になります。めんせつび たんじょうび
の日でした。ふだん せわ 老人介護ヘルパーをしています。

しょうがい かな かか するのはす て っ ぶ さんがはじめてで、いま まちなか しょうがい かな あ
“大変だろうな”、“かわいそう”とおも いて いました。かわってからは “たいへん
という気持ちは変わりませんが “かわいそう” とおも いて 失礼ではないかと感じ
ました。

しょうがいしゃ かな せいかつ み みな じぶん ひとりひとりけんじょうしゃ か
障害者の方の生活を見ていて、皆さん自分らしく一人一人健常者となんら変わりな
く、むしろ生き生きと生活しているなとおも いて いました。

かいじょ かな なか “かわいそう”ではなく、で き ないところを “おてつだ
い”する。と
いうきもちでこれからもせつ していきたいとおも いて います。

かいじょちゅうしつぱい おも ねが
介助中失敗もあるかと思いますが、これからもよろしくお願ひします。

福祉機器・介護用品・住宅改造のお問合わせは
お気軽に当店まで！ 自社工場完備で修理・改造がすぐ！
— 福祉機器のトータルプランナー —

有限会社 **パムック**



江戸川区南篠崎町 2-16-2 第2相栄ビル3F
(レンタル車いす・車いす保険も取扱っております)

TEL03(5666)4801 | FAX03(5666)4802

ベトナム散歩



さんぽ
ホーチミン編



つちや みねかず
土屋 峰和

観るものすべてが刺激的な旅だった。まさに刺激的という言葉がぴったりはまるモノや事ばかりだった。そんな国、ベトナムへ行ったのは2010年11月25日から12月7日。ベトナムは東南アジアにあり、南北に細長いS字形をしている。北部には首都のハノイ、南部にはホーチミンと言う大きな2大都市があります。日本との時差は2時間（日本が昼の12時なら、ベトナムは朝10時）。通貨はベトナムドン（以下ドン。1万ドンで4～50円）。米ドルも普通に流通している。言葉はベトナム語。空港やホテル、観光地では英語も通じる。

今回のベトナムの旅、私にとって記念すべき初の海外であります。人生初のパスポートを取るところから始まり、色々調べそれぞれを手配し、行く前からドキワクワな感じでした。航空券やホテルなども個人で手配したのですが、初めてのことも多くクリックするのもけっこう勇気があるのよね。このときベトナム航空の航空券も手配しました。日本からの往復はANA（約52,000円）だったのですが、ベトナム国内の移動にはベトナム航空を考えていたからです。予約は取れたのですが、その確認と車椅子という事は伝えておこうと思い、事前に当航空の東京オフィスへ電話してみたのです。まずはここでの出来事から。



あなたくるまいす ANAの車椅子カウンター。第一ターミナル南ウイング4F、Aカウンター側にある

一言で言うとビックリと言うしかないような内容でした。電話でいろいろ話した後、必要な書類があり送るので記入して送り返して欲しいと、送られてきた書類は次の2書類。Waiver of Responsibility と Medical Information Form でした。もちろん全て英語で書かれていて、前者には、十分なサポートはできないかも的な内容（たぶん）、後者には、身体や車椅子の事に関する項目のほか、担架が必要か、到着空港での救急車の手配などの項目もありました。これらを現地で空港スタッフに渡してくれという事でした。

そして更に驚いた事は、全く歩けない方のリクエストは入れられないとの回答だっ

たことです。もちろん私は全く歩く事はできません。思わずマジっすか！と言ってしまし
まいそうなくらいの衝撃です。そ、そんな事を言われても1000km くらいの距離
なので陸路ではまず無理（時間的にも）。

ではどうするかと話した結果、介助者が同行すること、最悪の場合介助者のみのサ
ポートで飛行機の乗り降りをする事、そしてそれにはリフターを使わせて頂くこと
を条件で、“多少なら歩ける”としてリクエストしてもらいました。ただ、このリク
エストだと現地でサポートが受けられないかも？との事でした。

本当にビックリするような回答ばかり。しかし他に手段がないじょう利用するし
かありません。この時リフターがどんなものなのかもわからなかったのですが、まあ
私の中では、少なくとも現地にも必ずスタッフはいるわけで、何とかなるんじゃない
かなと思ひ、この条件でお願いする事にしました。飛行機の利用はあまり多くはなく、
しかも初海外でよくわからないのですが、こういうもんなのでしょうか。

書類に關しても、英語のできない私にはしっかり理解することは難しく、サインす
るのもやや抵抗を感じた（サインしちゃったんだけどね）。記入の時も念のため電話
で確認しながら書いたのですが、電話の方も、書類の中には初めて見る書類もあり
…と言っていた。今まで書いた人はいないの！？まさか俺が最初じゃないよ…ね？
と、不安がよぎる。そもそもこんなものをいちいち書かないと乗れないのかと大きな
疑問が残る。ちなみに聞いたみたら、アポ無で空港へ行った場合、乗れない可能性が
高いと言っていた。

実際の利用感は後で書きますが、電話での対応では現地の情報、状況がわかってい
ないような印象を強く受けた。何かを聞くたびに、マニュアルにはこう書いてあるん
ですが…と言っていた。リフターについても、どんなものなのかも知らないようだ
った（これについては現地でビックリ！）。最後には私も若干不安は残りますが気を
付けて行って来て下さいと言われた。はあ…、はいつて感じ。初海外で大丈夫か！
俺！！

出発前にこんなことがあり、ただでさえ不安はあるのに余計に不安要素が増えてし
まった。安心のために電話したのに…。

今回のベトナムでは2ヶ所に滞在しました。最初の滞在は南部の街、ホーチミン。
そこに6泊し、次はベトナム中部の街、ホイアンへ移動し5泊しました。このホーチ
ミンからホイアンへの移動がベトナム航空の利用です。ちなみにホーチミンーダナン
（ホイアンの最寄空港）で往復1人7400円くらい。

25日の夕方の便に乗りホーチミンへ着いたのは深夜の23時過ぎ（予定では23

じちやく なりた ちよつこうびん じかん ぶん かい じかん ぶん おも
時着)。成田 - ホーチミン直行便で6時間40分(帰りは5時間40分)。思ったよりも
なが すこ おく ひこうき の じかん
長いフライトだった。しかも少し遅れてしまったため、飛行機に乗っている時間はそ
いじょう さら くるまいす ばあい さいしょ とうじょう さいご こうき
れ以上になってしまった(更には車椅子の場合は、最初に搭乗し最後に降機するのよ
ね)。エコノミーで行ったのですが、さすがに到着1~2時間前くらいからお尻が痛か
った…。ひや あせ なん ぶじとうちやく
冷や汗ながらも何とかしのぎ無事到着。ホーチミンの空港“タンソンニャ
こくさいくうこう くるまいすたいおう おも わる かん
ット国際空港”での車椅子対応は、思ったよりも悪い感じはしなかった。機体サイド
じぶん くるまいす の にもつうけとりじよ たしやう
から自分の車椅子には乗れなかったが、荷物受取所までサポートしてくれた。多少の
しんぱい おも たいおう ひとあんしん よ
心配はあったんだけど、思ったよりもスムーズな対応で一安心。とりあえず良かった。

くうこう
空港のロビーに出た時には深夜の0時くらいだったと思う。同じ便に乗ってきたお
きやく にぎ いっき ひと
客でロビーは賑わっていたのもつかのま、一気に人がはけていった。ツアーバスや
そうげいしやりやう の こ いどう き つ くうこうない ひと
送迎車両らしきものに乗込み、とっとと移動していく。気が付くと空港内の人はず
ばら。もちろんにほんじん ひと いこく ことば き さき ほどにぎ
日本人らしき人はなく、異国の言葉が聞こえてくる。先ほどの賑や
かさから いってん しず いこく いっき じぶん つつ かん ま
かから一転し、静けさとともに異国ムードが一気に自分を包み、リアル感が増す。
どうじ ふあんかん たか しんぞう き
と同時に不安感も高まり、心臓もドキドキ。やべえ…ベトナム来ちゃった…。

そうげい よやく じぶん うご くるま
送迎も予約していないので、自分たちで動かなくてはならない。空港からホテルへの
いどう しがい りやうきん まん
移動はタクシー。ホテルのある市街までの料金は7~8万ドン、または5ドルくらい。
じぜん しら おお
事前にネットで調べてみたところタクシーのトラブルはかなり多いらしい。トラブル
のおお
の多くはばったくり。

りやう いこく ふんいき ぜんぶふ
タクシー利用のコツはいくつかあるらしいんだけど、異国の雰囲気のにまれ全部吹
と ねだん き い ただん そうば しら たか
っ飛んだ。値段を聞いたら、10ドルと言ってきた。相場は調べてあったので、高いよ！
5ドルで！！と値段交渉を試みたけど10ドルと言って引かない。8ドルは？と言
ねだんこうしよう い ひ
って見たけどやっぱり引かない。僕らを見ていた他のタクシードライバーたちなに
よ ちか み ぼく み ほか たち なに
寄ってきて近くで見ている。僕らのやりとりが気になったのか、車椅子が珍しかった
のかわからないんだけど、気が付いたら数人が集まっていた。そのうちドライバーは、
い から行こう！みたいなしぐさをして僕らの荷物を持って車に積もうとしてきた。

おぼ じてん おそ じかん かつ かいがい
はっきり覚えていないけど、この時点ですでにかなり遅い時間。初の海外で
とうちやくそうそう すうにん げんち かと しんや かる
到着早々に数人の現地ドライバーに囲まれ、しかも深夜。軽くビビリながらも、ガイ
かたて めんどう
ドブックを片手にちょっとガンバって見たけど、らちがあかない。さすがに面倒くさ
はや やす おーけー じやうしや
くなった。早くホテルで休みたいので10ドルでOKし、乗車した。このドライバー、
そうこうちゆう おんがく だいおんりやう め まえ いちどぐるま と
走行中には音楽を大音量でかけ、ホテルの目の前で一度車を止めて、10ドルだぞ！？
こと かくにん いちど い
みたいな事を確認してきた。もう一度8ドルは？って言って見たけど、やっぱりダメ。
しかた おーけー さっそく い ほう
仕方ないのでOKした。早速ボられた…。でもまあこのくらいなら良い方かな。

空港で急いでドンに両替したのに、結局ドルで払うはめになった。ちなみに黄緑と黄色のツートンカラーの車体の TAXI HOANG LONG だった。今回の旅でタクシーはかなり利用したけど、このタクシーにはこの後一度も乗る事はなかった。評判は良いみたいなんだけど・・・。

ちなみに、よく利用したタクシーは、VINASUN TAXI。街中で一番目にするタクシーだしトラブルもなく対応も良かった。7人乗りミニバンタイプの車種もかなり走っていて、車椅子を積むのにも楽だった。お勧め。



やっとホテルに着いた・・・。泊まったホテルは New World HOTEL SAIGON。日本語常駐スタッフもいるらしい（一度も見なかったけど）。ここを選んだ理由は



入り口ドア幅約 66cm、洗面台下約 63cm。膝が入り使い易かった。

自分の考えていた立地条件にはまったこと。そして車椅子でも何とかかなりそうだったから。ただ他と比べるとやや高め。この時はデラックスツイン朝食付き 2人で 14,000円くらいだった。

ベトナムの相場からすると高い方に入り、もっと安いところは沢山ある。でも結局は立地と車椅子の事を考えて決めた。結果としてはとても良かった。設備、サービス、食事、どれも満足できる内容だった。部屋は十分な広さがあり浴室兼トイレにも車椅子のまま入ることができた。館内にはプールもあり、スロ

ープが設置されていてプールサイドまで行くことができた。プールサイドにはバーもあり飲むこと

もできる。僕らは自分で買ってきたビールを持って行き、夜にプールサイドで涼みながら飲んじゃった。普段なかなかできない優雅な時間だったかも。

朝食はバイキング形式でとても美味しかった。ついつい食べ過ぎちゃう。レストランは1階で一面ガラスになっていて、目の前の公園が見える。木がたくさん植えてあり、その木漏れ日が綺麗だった。そんな景色を見ながら、朝食が頂ける。種類も多く、明日は何にしようかな？



と思わず考えてしまうくらい。フルーツジュースがめちゃ美味かった。



また、このホテル滞在中に同行者が誕生日を迎えた。異国での誕生日かあ！？って話していたところ、なんとホテルからケーキのサービスがあった。まさに予想もし

てなかつたサプライズで、嬉しいサービスだなと思う。Happy
 Birthday to H!!

私が考えていた宿の立地条件は、自分の行きたい所に
 できるだけ“歩いて行ける”こと。とりあえず二つのエリ
 アに的を絞ってみた。一つは、有名なベントイン市場や、
 歴史的建造物がいくつもあり、そしてお店も多く集まってい
 るドンコイ通り周辺。このあたりはツアー観光客も多く綺麗
 なエリア。ドンコイ通りは表参道っぽい。

もう一つは、下町な感じでバックパッカーの集まるデタム通り
 周辺。こちらは大きなお店などはないけれど、いろいろなお店が



↑デタム通り近く。こんなお
 店もいっぱいある。↓狭い通
 りもたくさんあり面白い。



街中のお洒落なレストラ
 ン。ずいぶん食べたけど1人
 1500円ほど。美味い!

たくさんあり、また地元民も多く見て歩くに
 は面白い。街並みもがらりと変わる。こ
 のあたりを歩きまわりたいたいと考えながら
 宿を探していたら、ここに行き着いた。

理想的な立地。どちらのエリアにも十数分くらいで行ける。

滞在中はそうとう歩きまわった。歩きまわった感想から
 言うと、ホーチミンはとても面白い! フランス統治時代
 の名残もあり観るものは沢山あるし、いろいろなお店も

沢山ある。そして何と言っても食べ物美味いっす!! レストラン、市場内の店、

大衆食堂、街中などにある屋台っぽい店…。かなりい

ろいろな所でいろいろなモノを食べた。食べ物はホント
 に豊富。好みの問題はあと思うけど、私的にはどれも
 普通に美味いと思えた。思っていたよりも癖はないとい
 う感じ。もちろん香草も入っていたりするけれど、想像
 よりも強くはなかった。辛くもない。そして安い。屋台

などでは一品100円以下、食堂などでは2~300円、レストランなんかでも500円



ベントイン市場内のお食事処



ソフトシェルクラブ専門店。
 ビール最高!

くらいから食べられる。最初のうちはお腹の調子も気
 になり心配したんだけど、好奇心もあいまって、な
 んだかんだでけっこう食べちゃった。でも幸いにも
 旅行中お腹の具合は一度も悪くなる事はなかった。食
 べ物は想像していたよりもはるかに多くの種類があ
 り、すべてが美味い。また、ビールに合う食べ物も多

く、俺的にはたまらん！

街歩きでは多くのエリア、場所を覗いた。その中でもとりあえず押さえておきたい所は、戦争証跡博物館（15,000ドン約70円）。ベトナム戦争に関するものが展示されている。正面は階段だが脇にスロープがあり、館内にはエレベーターもある。枯葉剤による奇形児のホルマリン漬けにされた写真は強烈。枯葉剤の影響は、親から子へ、そして孫へと世代を超えて未だに残っていると聞いた。よく考えてみるとそんなに昔ではない35年前のこと。負の



遺産や失ったものの大きさを感じずにはいられない。

街中はバリバリのバリアフル。車道と歩道の段差は1～20cmはあたりまえ。歩道には出店やらバイクやらで通れないことが多い。しかも地面はボッコボコ。小さなカスターではかなり厳しいと思う。もちろん綺麗な歩道もあるけれど、工事中？も含めそうじゃない

所も多い。歩道は通れないところが多くしかもボッコボコなので、結局は車道を通ることも多かった（バイクビュンビュン！）。

でも私の場合はさほど苦にはならなかった。ほとんどは同行者一人の介助で行くことができたし、行けない所は街中の人々が快く手伝ってくれる。この旅全体を通してそうなんだけど、ベトナムの人達はとても気さくでフレンドリーな印象が強い。ある意味バリアフリーなのかもしれない。

街歩きはとても楽しかった。私は絶対にすべきと思う。幸いにも危険を感じる事が一度もなかったのも大きいか。喉が渴いたら水をかう（500mlで4～5千ドン約20円）。気になるものがあったら寄ってみる。腹が減ったら食べる。そんな何気ないお散歩も、異国の地では全てが新しい。最初は笑ってしまうくらいに言葉が通じないが、それも面白い。とても



刺激的なものが街には溢れていた。

このホテル滞在中に最大と言ってもいいトラブルが発生した。それはなんと予想もしてなかった“ロホ”のパンク！突起部の根元が数ミリに渡って裂けていた！！これはマジでヤバいと思った。この後クッションなしの旅は非常に厳



歩道のご真ん中に公衆トイレ。階段がありドアも狭い。でも車椅子マークがついている。意味がわからない。街歩きではこんな発見もある。

しい…。まずはフロントに聞いてみたところ、技術者を派遣してくれた。技術者もブツを見るなり無言のまま首を左右に振っていた。それを見て私も最悪の事態が脳裏をよぎる。言葉のできない私に代わり友人が、これがないととても困ること、そしてもし治せないのであれば治せるところを紹介して欲しいと伝えてくれた。



すると技術者は何かを感じたのか、何やら作業を始め時間をかけて丁寧に仕上げた。な、なんと治った!!これは本当に助かった。もう良かったとしか言いようがない。治らなかった時の事を想像するとぞっとする。この時の修理には、ベトナムスタンダードなボンドを使っていた。早速そのボンドを買い、今後の方が一に備えた。しかし幸いにもこの後パンクすることはなかった。良かったあ。ちなみにこの時の口ホは未だ現役で使っている。恐るべしベトナムスタンダード & 技術者さん。バイク天国なので、ゴムの加工は得意なのかな？

二十数年口ホを使っているが、過去にパンクは一度だけ。二度目がこれ。やっぱり想定外の事って起きるんだね。



初の海外としてベトナムを選んだ理由は、友人がここに住んでいたから。以前から考えてはいたのですがやっと実現する事ができた。ホーチミン滞在中のうちの数日を一しょうに行動してもらった。そのうちの1日は友人達と一緒に日帰りで観てまわれるメコンデルタツアーを申し込んだ。現地には旅行会社がいくつかあり、ツアーもか

なりいろいろある。中には日本からでも申し込めるものもあるようだけど、現地の友人にお願いしちゃった。いろいろ調べてもらったりしてとても助かった。今回利用したところは T N K Travel。ここは日本語スタッフのいる店舗もあるらしい。ツアーには団体と個人とあり、もちろんそれぞれにメリット・デメリットがある。いろいろ考えた結果、車椅子ということと、スケジュールにも融通が利くため個人ツアーで行くことにした。4人で参加し1人49ドル。これには、1台の専用車（7人乗り？のミニバン）が付き、移動、昼食、船、そして日本語ガイドが付いての全て込み。ツアー中にこれ以外に料金はかからない。朝から夕方までの予定で、車で移動しメコンデルタへ船で渡り、いろいろ体験の後、食事をして帰ってくるほぼ丸一日のツアー。





ツアー内容は友人から事前に聞き、車椅子的にそして私的に無事に！？行って来られるかどうかを考えてみた。いくつか乗り越えなければいけないポイントがあるけれど、同行者と現地の友人二人、そしてガイドさん（男性）がいれば何とかかなと思い申し込んでみた。

とてもエキサイティングなツアーで楽しかった。初めてのことで、車椅子的に考えても冒険度は高く、難関もいくつかはあ

ったものの、その多くはクリアし楽しむことができた。

しかし、残念な事にこのツアーで一つだけ断念せざるを得ない事もあった。本来の内容としては、船で渡ったあと更に小船に乗り換えジャングルのような狭い小川に行く予定も組まれていた。小船の乗り場までもジャングルの中を百数十m 歩く。歩道は飛び石になっていて、その幅は車椅子の車幅以下。小船はさすがに



…と思いつつも、せつかなのでとりあえずこの小船の乗り場まで行ってみる事にした。が！その道のりはちょー大変だった。常にウィリー状態で走行し、路面はボコボコ。たまにぬかるみ。かなりの時間を要し船着場に到着。予想はしていたけど船は小さく、乗り込むことは非常に困難。また、ガイドによるとここへ戻ってくるのでは



みつばちの巣を持っての記念撮影。蜂がブンブン！

なく、別の場所で船から船に乗り換えらしい。さすがにリスクが大きいため、この小船を断念した。このあたりの突然の予定変更も個人ツアーのメリットかな。

船着き場までは行ったけれど小船は断念した。でもその過程は決して無駄ではなく、むしろそれも楽しさの一つだと思えた。同行者をはじめ友人達には多くの手を借りたけれど、私の初チャレンジにみんなが同じようにどうすればいいかを考えてくれている事が凄く嬉しく、

私自身、皆で行ったこのツアーでの達成感はとても大きい。行って良かった。感謝！

長くなってしまったので、あとは次回にまわします。最初にベトナム航空の話をしておきながら、そこまで行き着けなかった…。次回は、ベトナム航空の実際の利用感と、世界遺産二ヶ所などについて書きます。まだ続くのか！？と呆れないで下さいね。お楽しみに。



しん す た つ ふ しょう かい
新スタッフ紹介

せいしゃいん つちや みねかず
正社員：土屋 峰和

しずおか いなか えどがわく で はや ねんはん
静岡の田舎から江戸川区へ出てきて早6年半ほど、
すてっぷ にバイトとして関わらせて頂いてからも6年くら
いになります。ずいぶん時間が経ってしまいましたが、
こんねんど しゃいん はたら いただ いた
今年度から社員として働かせて頂くこととなりました、土屋
と申します。

なに じぶん じっか と だ
“何か自分にもできることがあるはず”と実家を飛び出し
ひとりぐ ち えら ひっし せいかつ なか
一人暮らしの地としてココを選び、必死で生活していく中、
ふと気が付いたらこれだけの時間が経っていました。

しょうがいとうじしゃ けいけん い
そんな障害当事者としてのこれまでの経験を活かし、また
わたしじしん お ま がんば であらた
私自身のキャラも織り交ぜながら頑張っていきますので、改めてこれからもよろしく
ねが いた
お願い致します。



せいしやいん めのかわ ゆう
正社員：布川 悠

はじめまして。今年ことしの4月がつから正社員せいしやいんになりました布川悠めのかわゆうです♪

好きなモノすは餃子ぎょうざと納豆なつとうとプリンねこと猫ねこです。まめねこという猫を飼かっています。布川家めのかわの王子様おうじさまです！！

3年間ねんかん、登録ヘルパーとうろくとして働はたらいていたので知しっている方も多かたいかと思います。STEPで働はたらいて、たくさんの方かたに出会あい、普通ふつうじゃ経験けいけんできないようなことこともたくさんやらせてもららえました。それらそれらの経験けいけんはすごく刺激しげきてき的てきだったし、私わたしの人生じんせいを大きおおく変かえてくれたことことでもありました。



色いろんな機会きかいを与あたえていただきいただきて、STEPの皆みな様さまには感謝かんしゃです。それから、この3年ねんで人見知ひとみしりが直なおりました(^^)

そんな、私わたしにとって特別とくべつな存在そんざい？であるSTEPえどがわの正社員せいしやいんとして働はたらけることをととても幸しあわせに感かんじています。

今いままでおふざけキャラでやってきたけれど、これからは正社員せいしやいんなので、デキルヘルパー、デキル社員しゃいんになれるように頑がん張ばります！これからもどうぞよろしくお願ねがいいたします。

せいしやいん あおやま よしみ
正社員：青山 佳未

こんにちは、今年度こんねんどから社員しゃいんとして働はたらく事ことになりました青山佳未あおやまよしみです。登録ヘルパーとうろくとして1年半強働ねはんきょういていましたが、あまり事務所じむしょには立ち寄たち寄よらないほうだったので知しらない方も多かたいと思います。写真おほの、こんな顔おもの奴やつです。よく、すごく真面目まじめそうだとか大人おとなしそうだとか言いわれますが、そんな事ことないですよ。絵えと音楽おんがくをこよなく愛あいする青山あおやまです。打うたれ強つよいほうなので、根掘り葉掘り聞きいてもららえたらと思おもいます。



STEP歴すてっぶ、社会経験しゃかいけいけん共に未熟者みじゆくものでまだまだ知しらないことも多おほく、皆みなさんに迷惑めいわくをかけると思おもいますが、ゆっくり確実かくじつに成長せいちようして行くつもりです。すごく温かい目めで見守みまもっていていただけたら幸さいわいです。

今いま自分じぶんに出来る限できりの事ことを全力ぜんりよくで取り組とむ精神せいしんを忘わすれずがんばらず頑がん張ばっておもいいます。これからもどうぞよろしくお願ねがいします。

けいやくしゃいん そ が はじめ
契約社員：曾我 元

みなさんどうも、はじめまして曾我元です。今回、四月から契約社員して働かせて頂くことになりました。



私が、どんな人が簡単な自己紹介をさせていただきます。まず、ここにお世話になる前は保育所で先生をしていました。子どもと遊ぶのが好きだったので、「はじめ先生」とちやほやされた後いろんな出来事が起き、女性社会というのは、とても恐ろしいところについていけなくなりました。(笑)

そんなときに「ヘルパーをしてみないか？」と声を掛けられ、この仕事を始めることになりました。

私は、人と関わることで大切にしていることがあります。それは、思ったことは素直に言葉にすることです。相手に対して「伝える・聞く」あたり前のことですが人間関係を作るうえで大事なことです。いつも心がけていることです。

今年は利用者さんともより関係を深めていくと同時に、ヘルパー同士でのコミュニケーションも大切にしていきたいと思えます。

最後に・・・世間で言うところの見た目は「チャラ男」で、保育士のときから「こいつ本当に保育士・介護福祉士の免許持っているのか？」とよく言われるそんな私ですが、町や事務所で会ってしまったとき、見かけたときは避けずにぜひ話しかけてくださいね！みなさんよろしく願いいたします。

けいやくしゃいん のぐち まき
契約社員：野口 真樹

はじめまして！このたび4月からSTEPえどがわで契約社員として働かせてもらうことになりました、野口真樹と申します。生まれも育ちも江戸川区で瑞江はまさに地元です。STEPで働き始めてから半年が経ちますが、多くの人と関わる事で自分を客観的に見つめ、今やるべき事は何か？自分を支えてくれている人達の存在の大切さに気づかされました。今後も試行錯誤をしながら、STEPの活動に尽力していきたいと思っています。またイベントは、家族で楽しく参加させていただきますので、よろしく願いします。



かっ どう ほう こく
活動報告

2010年

6/04	・ ・ ・ ・ ・	しゆくとくだいがくこうぎ 淑徳大学講義	8/06	・ ・ ・ ・ ・	すてっ こ STEP っ 子バザー
6/04	・ ・ ・ ・ ・	えどがわとくべつしえんがっこううんえいきょうぎかい 江戸川特別支援学校運営協議会	8/06	・ ・ ・ ・ ・	じかんけんしゅう 20 時間 研修
6/08	・ ・ ・ ・ ・	せいとう あんど かつどう 政党シンポジウム&ロビー活動	8/10	・ ・ ・ ・ ・	じかんけんしゅう 20 時間 研修
6/09	・ ・ ・ ・ ・	こうろうしょうこうしょう 厚労省交渉	8/12	・ ・ ・ ・ ・	えそうれん 江相連
6/11	・ ・ ・ ・ ・	すてっ こ STEP っ 子バザー	8/15	・ ・ ・ ・ ・	けんしゅうかい ヘルパー 研修会
6/12 ~ 13	・ ・ ・ ・ ・	でいびーあいそうかい いん なごや DPI 総会 in 名古屋	8/20	・ ・ ・ ・ ・	だいがくどうじむきょくかいぎあんどせわにんかいあんどべんきょうかい 大行動事務局会議 & 世話人会 & 勉強会
6/16	・ ・ ・ ・ ・	えどふくかい 江戸福会	8/20	・ ・ ・ ・ ・	すてっ こ STEP っ 子バザー
6/17	・ ・ ・ ・ ・	えどがわくじりつしえんきょうぎかい 江戸川区自立支援協議会	8/21	・ ・ ・ ・ ・	まちだ 町田ヒューマンでコーディネーター研修
6/18	・ ・ ・ ・ ・	しーあいえるひがしやまとべんきょうかい CIL 東大和勉強会	8/22	・ ・ ・ ・ ・	ピアカンセミナー
6/24	・ ・ ・ ・ ・	すてっ ぶ えどがわ ぞうかい STEP えどがわ 総会	8/26	・ ・ ・ ・ ・	みんしゅうとうしやうがいしやしきくびーてい 民主党障害者施策PTヒアリング
6/23 ~ 7/3	・ ・ ・ ・ ・	えぬえいちけーたいけん しゅうざい NHK 体験ルーム取材	8/29	・ ・ ・ ・ ・	すてっ こ いん とうぶくみんかん STEP っ 子バザー in 東都区民館
7/08	・ ・ ・ ・ ・	てい りん とうきやうとぶちやう はな あい TIL - 東京都部長との話し合い	9/01	・ ・ ・ ・ ・	いりやうてき かん こうろうしょうこうしょう 医療的ケアに関する厚労省交渉
7/09	・ ・ ・ ・ ・	すてっ こ STEP っ 子バザー	9/01	・ ・ ・ ・ ・	なんびやうかんけい たいさく 難病関係の対策についての
7/10	・ ・ ・ ・ ・	はんず せたがやぞうりつ しゅうねんきねん HANDS 世田谷創立 20 周年記念パーティー	9/04	・ ・ ・ ・ ・	こうろうしょう はな あい 厚労省との話し合い
7/11	・ ・ ・ ・ ・	ボランティアフェスティバル	9/05	・ ・ ・ ・ ・	あいちじゅうどしやうがいしやれんらくきょうぎかいべんきょうかい 愛知重度障害者連絡協議会勉強会
7/14	・ ・ ・ ・ ・	えそうれん 江相連	9/08	・ ・ ・ ・ ・	すてっ こ いん かさい STEP っ 子バザー in 葛西
7/15	・ ・ ・ ・ ・	けんしゅうかい ヘルパー 研修会	9/09	・ ・ ・ ・ ・	じゅつてんにきゆうーだい じっこういんかい 10.29 大フォーラム実行委員会
7/21	・ ・ ・ ・ ・	えどふくかい 江戸福会	9/09	・ ・ ・ ・ ・	みんしゅうとうしやうがいしやびーていー だんたい 民主党障害者PTによる団体ヒアリング
7/24	・ ・ ・ ・ ・	すてっ こ なつまつ STEP っ 子夏祭り	9/10	・ ・ ・ ・ ・	こうめいとう だんたい 公明党による団体ヒアリング
7/25	・ ・ ・ ・ ・	もぐら さい 祭	9/15	・ ・ ・ ・ ・	けんしゅうかい ヘルパー 研修会
7/25	・ ・ ・ ・ ・	えぬぴーおーこうとうく したまちべんきょうかい NPO 江東区かがやき下町勉強会	9/15	・ ・ ・ ・ ・	いりやう 医療ケアシンポジウム
7/26	・ ・ ・ ・ ・	ふくしまけんじりつせいかつ きょうぎかいべんきょうかい 福島県自立生活センター協議会勉強会	9/15	・ ・ ・ ・ ・	えそうれん 江相連
7/29	・ ・ ・ ・ ・	につしんれん 日身連シンポジウム	9/17	・ ・ ・ ・ ・	すてっ こ STEP っ 子バザー
7/30	・ ・ ・ ・ ・	えそうれん ぞうかい 江相連 総会	9/18	・ ・ ・ ・ ・	まちだ しゅうねんきねん 町田ヒューマンネットワーク 20 周年記念パーティー
			9/23	・ ・ ・ ・ ・	しーあいえる しゅうねんきねん CIL くれぱす 10 周年記念イベント
			9/25	・ ・ ・ ・ ・	えどがわくふくし しごと 江戸川区福祉の仕事ハローワーク
			9/25 ~ 26	・ ・ ・ ・ ・	じかんけんしゅう 20 時間 研修

9/29	えどふくかい 江戸福会	12/18 ~ 19	にいがた 新潟フォーラム
10/02	ばーべきゆう BBQ	12/21	えどがわとくべつしえんがっこうじゆぎょう 江戸川特別支援学校授業
10/06	いんないしゅうかいあんど 院内集会 & ロビーイング	12/21	えそうれんじれいけんとうかいあんどぼうねんかい 江相連事例検討会 & 忘年会
10/09	じちろう 自治労シンポジウム「医療的ケア」	12/23	クリスマス会
10/10	いりようてき 大田区権利条例勉強会	12/25	じる じんけんいんかい J I L 人権委員会
10/10	おおたくけんりじょうれいべんきょうかい 大田区権利条例勉強会	12/26	いりようてき 医療的ケアシンポジウム
10/12	とうきょうとそうだんしえん じゅうじしやげんにんけんしゅう こうし 東京都相談支援従事者現任研修の講師	2011年	
10/12	すいしんかいぎぼうちよう 推進会議傍聴		
10/14	えどとくがっこうれんらくかい 江戸特学校連絡会	1/05	しんねんかい 新年会
10/20	えどふくかい 江戸福会	1/06	じえーでいーえふちいき いん とうきょうじゆんびかい J D F 地域フォーラム in 東京準備会
10/21	えそうれんじれいけんとうかい 江相連事例検討会	1/07	えそうれん 江相連
10/28	こつかいぎいん かつどう 国会議員ロビー活動	1/14	だいこうどうせわにんかい 大行動世話人会
10/29	じゆつてんにーきゆうだい 10.29大フォーラム	1/14	すてっこ STEP 子バザー
		1/14	だいにじいけんしよべんきょうかい 第二次意見書勉強会
11/04	えどがわくじりつしえんきょうぎかいこうえんかい 江戸川区自立支援協議会講演会	1/15	すてっぶ じんけんがくしゅうかい じぜんがくしゅうかい ぼりゆうむ STEP 人権学習会の事前学習会 Vol.1
11/10	じみんと 自民党ヒアリング	1/17	かいご じょうほうこうかいちようさ 介護サービス情報公開調査
11/12	すてっこ STEP 子バザー	1/19	えどふくかい 江戸福会
11/17	こつかいまえしゅうかいあんどぼうちよう 国会前集会 & 傍聴	1/20	だい じつこういんかい 大フォーラム実行委員会
11/18	えどがわくじりつしえんきょうぎかい 江戸川区自立支援協議会	1/26	じえーでいーえふいんないしゅうかい J D F 院内集会
11/19	とうきょうとこうしやう いりようてき けん 東京都交渉 (医療的ケアの件)	2/02	ている にじいけんしよべんきょうかい T I L 二次意見書勉強会
11/21	しんきん しゆせい 神筋ネット主催ワークショップ	2/7 ~ 8	とうきょうとそうだんしえんせんもんいんしよにんしやげんしゅう 東京都相談支援専門員初任者研修
11/24	えそうれん 江相連	2/09	こうろうしやうこうしやう 厚労省交渉
11/30	えどがわとくべつしえんがっこうじゆぎょう 江戸川特別支援学校授業	2/10	すてっこ STEP 子バザー
12/01	じゅーん らいほう June さん来訪	2/10	えどがわくじりつしえんきょうぎかい 江戸川区自立支援協議会
12/03	ないかくふ 内閣府イベント	2/11	えそうれんしゆせいべんきょうかい 江相連主催勉強会
12/4 ~ 5	せいさくけんきゅうしゅうかい 政策研究集会	2/14 ~ 16	じる ぜんこく いん よこはま J I L 全国セミナー in 横浜
12/07	えどがわとくべつしえんがっこうじゆぎょう 江戸川特別支援学校授業	2/16	とうきょうとかいごほけんじぎょうしよこうしゅう 東京都介護保険事業所講習
12/08	じえーでいーえふぜんこく J D F 全国フォーラム	2/20	すぎなみく 杉並区のピアカンリーダー
12/08	じゅーん こうりゅうかい June さん交流会	2/23	すてっぶ じんけんがくしゅうかい じぜんがくしゅうかい ぼりゆうむ STEP 人権学習会の事前学習会 Vol.2
12/09	ている やくいんかい T I L 役員会	2/25	おのみちしけんりじょうやくべんきょうかい 尾道市権利条約勉強会
12/10	すてっこ STEP 子バザー	2/25 ~ 27	はちおうじちやうかくしやくしやうがいしやしえん 八王子聴覚視覚障害者支援センター
12/15	けんしゅうかい ヘルパー研修会		しゅうちゅう の集中ピアカンリーダー
12/15	えどふくかい 江戸福会	2/26	ちいきしえん 地域支援ネットワークのフォーラム

会員募集

STEPえどがわは、STEPポリシーとSTEP訓の下、障害者の自立生活に係わる様々な問題に取り組み、ひいては地域に根ざした社会貢献団体になることを目指しています。

つきましては、当法人の活動趣旨にご賛同いただける皆様に会員（正・賛助）になっていただき、共に自立生活センターSTEPえどがわを支え、育てて下さる仲間を募集します。

正会員（正会員は、当法人の定款に定めた総会に参加できます）

- 登録料 5,000 円（入会時のみ）
- 会費 5,000 円／年

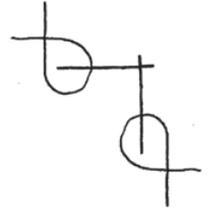
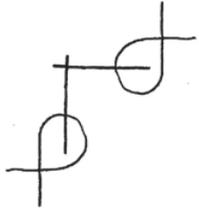
サポーター会員（賛助会員）

- 個人 1 口 3,000 円／年（1 口以上）
- 団体・法人 1 口 10,000 円／年（1 口以上）

会員には、当法人の刊行物、イベント案内チラシ等を送付致します。

会費納入先

＜郵便振替＞ 自立生活センターステップえどがわ No.00110-0-579238
＜銀行口座＞ 特定非営利活動法人自立生活センターステップえどがわ
三菱東京UFJ銀行 瑞江支店 普通 0548550



編集後記

へん しゅう こう き

とうほくかんとうだいしんさいにより、ここ東京江戸川区も様々な被害や弊害がありました。設備や物資に困ることも障害者は普段の生活に増して不便どころか身動きがまったく取れず、取り残される問題も浮き彫りになりました。が反面、人の温かみや助け合う心がたくさん触れることも出来ました。

皆さんからの『こんなことに困った!』『みんなでこうやって助かった!』『コレ、便利だった♪』などの情報提供や疑問、質問などお待ちしています。情報を共有し、これからも万が一の災害に備え、少しでも安心した暮らしにしていけるといいですね。是非、お寄せください。

ひがしにほんだいしんさいしょうがいしやきゅうえんほんぶ せんようこうざ きふ ねが
東日本大震災障害者救援本部 専用講座 (寄付はこちらへお願いします)

ゆうびんふりかえこうざ とうほくかんとうだいしんさいしょうがいしやきゅうえん
郵便振替口座 00140-7-429771 東北関東大震災障害者救援プロジェクト

ぎんこうふりこみ ぎんこう みせばん とうざ
銀行振込は ゆうちよ銀行 店番 019 (せーかい) 当座 0429771

クレジットカードからの場合はこちら (1,000円からの寄付が可能です)

<http://www.j-payment.co.jp/lan/bokin/dpijp.html?1>



へんしゅう
編集:

とうきょうとしていきたくしえんじぎょうしゃ
東京都指定居宅支援事業者
とくていひえいりかつどうほうじん えぬぴーおーほうじん
特定非営利活動法人(NPO法人)
自立生活センターSTEPえどがわ
じりつせいかつ すてっぷ

133-0065 とうきょうとえどがわくみなみしのぎきまち
東京都江戸川区南篠崎町3-9-7

でんわ ふあつくす
TEL 03-3676-7422 FAX 03-3676-7425

ホームページ
HP <http://www.step-edogawa.com/>

める
E-mail main@step-edogawa.com

